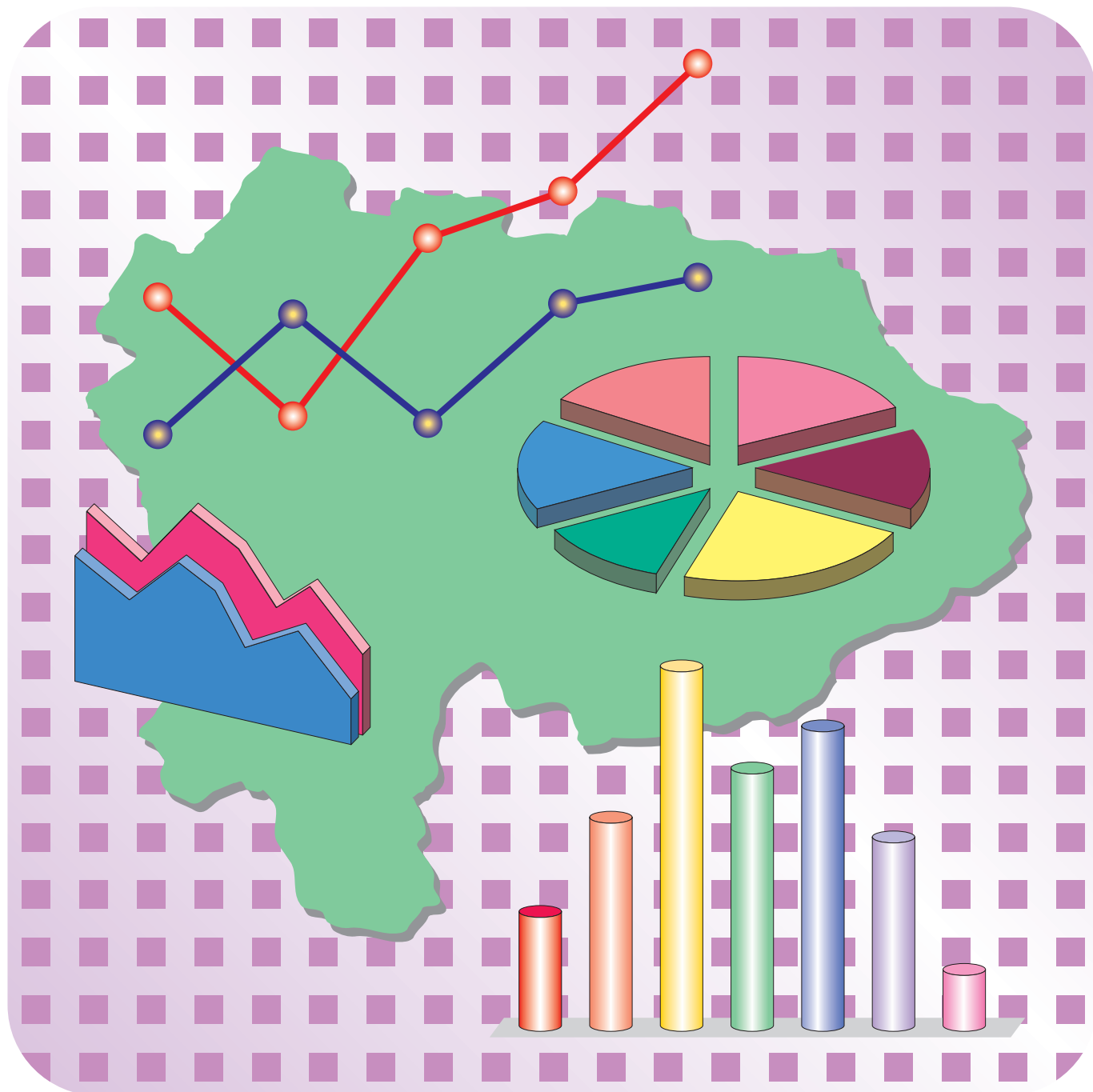


# 統計からみたやまなし

—平成28年度—



山 梨 県

# 山梨県のシンボル

## 県の鳥(うぐいす)



春を告げる鳥として親しみ愛される鳥で、他の鳥のひなを育てるという習性を持っているため「明朗と慈愛」を表しています。 昭和39年6月制定

## 県の木(かえで)



その葉は、秋、霜をうけて紅葉しますその様は「山々の男ぶり見よ甲斐の秋」(虚子)などとよまれています。 昭和41年9月制定

## 県の花(ふじざくら)



きびしい富士の雪風に耐えて、つつましくやかに咲く花は「和と忍耐」を表しています。昭和29年制定

## 県の獣(かもしか)



高山のきびしい自然に耐えて生きているところが「忍耐・努力」を表しています。昭和39年6月制定

# 目次

山梨の1日の暮らし	2
山梨ってどんな県?	3

## グラフでみるやまなし

自然・気象	5
人口	6
経済	8
事業所	9
工業	10
商業	12
農業	13
労働	14
物価	15
家計	16
福祉・医療	17
社会生活	18
教育	19
交通・通信・エネルギー	20
国際交流	21
観光	22
居住環境	23
災害・事故	24

## 指標からみるやまなし

自然と人口	25
産業と労働	27
教育と文化	28
家計と住環境	29
福祉と医療	30
災害と安全	32
財政	32
市町村別	33
統計グラフコンクール入賞作品集	35

# 山梨の1日の暮らし

平成27年(※は年度、他県からの転入・転出、交通事故発生件数は平成28年、水道給水量、ごみ排出量は平成26年度)



■出生  
16.4人



■死亡  
26.4人



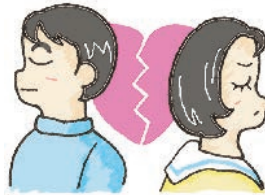
■他県からの転入  
44.4人



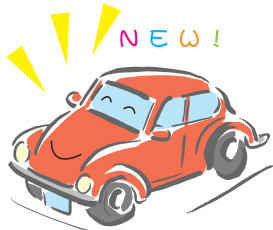
■他県への転出  
47.8人



■結婚  
10.5組



■離婚  
3.9組



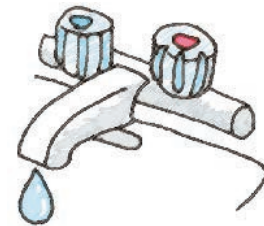
■自動車新規登録台数  
※75.3台



■バス乗車人員(乗合)  
※24.9千人



■電灯・電力使用量  
※1,474.7万kWh



■水道給水量  
※37.2万m<sup>3</sup>



■ガソリン販売量  
※1,049.7kl



■着工新設住宅  
※12.4戸



■食料費(二人以上の世帯)  
2,560.4円



■ビール販売量(大瓶)  
※6.3万本



■ごみ排出量  
※857.5t



■海外渡航者数  
195.1人



■火災発生件数  
0.98件



■救急出動件数  
108.3件



■交通事故発生件数  
11.9件



■刑法犯認知件数  
17.6件

# 山梨ってどんな県？

全国順位上位3位以内のものを  
分野別に掲載しました。

## 自然

### ■森林面積割合(対総面積)



平成21年度  
全国3位 77.8%

### ■日照時間(年間)



平成26年度  
全国3位 2,335時間

### ■最高気温

(日最高気温の月平均の最高値)



平成26年度  
全国2位 32.4℃

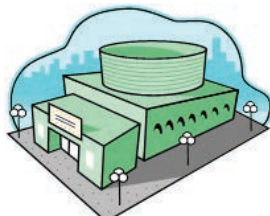
## 文化

### ■図書館数(人口100万人当たり)



平成23年度  
**全国1位** 63.0館

### ■公民館数(人口100万人当たり)



平成23年度  
**全国1位** 583.4館

### ■博物館数

(人口100万人当たり)



平成23年度  
全国2位 33.8館

## 福祉・医療

### ■老人福祉センター数 (65歳以上人口10万人当たり)



平成25年度  
全国2位 12.9所

### ■保健師数(人口10万人当たり)



平成26年度  
**全国1位** 70.0人

## 安全

### ■消防水利数(人口10万人当たり)



平成26年度  
**全国1位** 3,404.0所

資料:「統計でみる都道府県のすがた 2016」(総務省統計局)

## 農業

### ■ぶどう収穫量(年間)



平成27年  
**全国1位** 41,400 t

### ■もも収穫量(年間)



平成27年  
**全国1位** 38,600 t

### ■すもも収穫量(年間)



平成27年  
**全国1位** 6,770 t

資料:「作物統計調査」(農林水産省)

## 工業

■出荷額(年間)  
貴金属製装身具



平成26年  
全国1位 25,904百万円

■出荷額(年間)  
ミネラルウォーター



平成26年  
全国1位 41,208百万円

■販売(消費)量(年間)  
果実酒(ワイン等)



平成26年度  
全国1位 11.1ℓ

資料:平成26年「工業統計表」(経済産業省)

資料:「酒のしおり」(国税庁)

## 家計

■支出金額(1世帯当たり年間)  
あさり



平成25年～27年平均  
全国1位 1,515円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
ぶどう



平成25年～27年平均  
全国1位 6,600円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
ヨーグルト



平成25年～27年平均  
全国1位 14,135円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
干しあじ



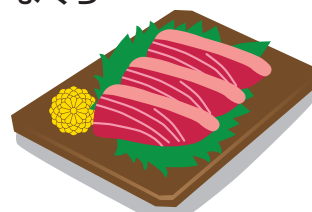
平成25年～27年平均  
全国2位 1,682円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
生うどん・そば



平成25年～27年平均  
全国2位 4,655円

■支出金額(1世帯当たり年間)  
まぐろ



平成25年～27年平均  
全国2位 9,837円

資料:平成27年 家計調査 結果報告書(統計調査課)

## 社会生活

■1日平均の食事時間



平成23年  
全国1位 1時間46分

■「ボランティア活動」の行動者率(年間)  
(障害者を対象とした活動)



平成23年  
全国1位 2.0%

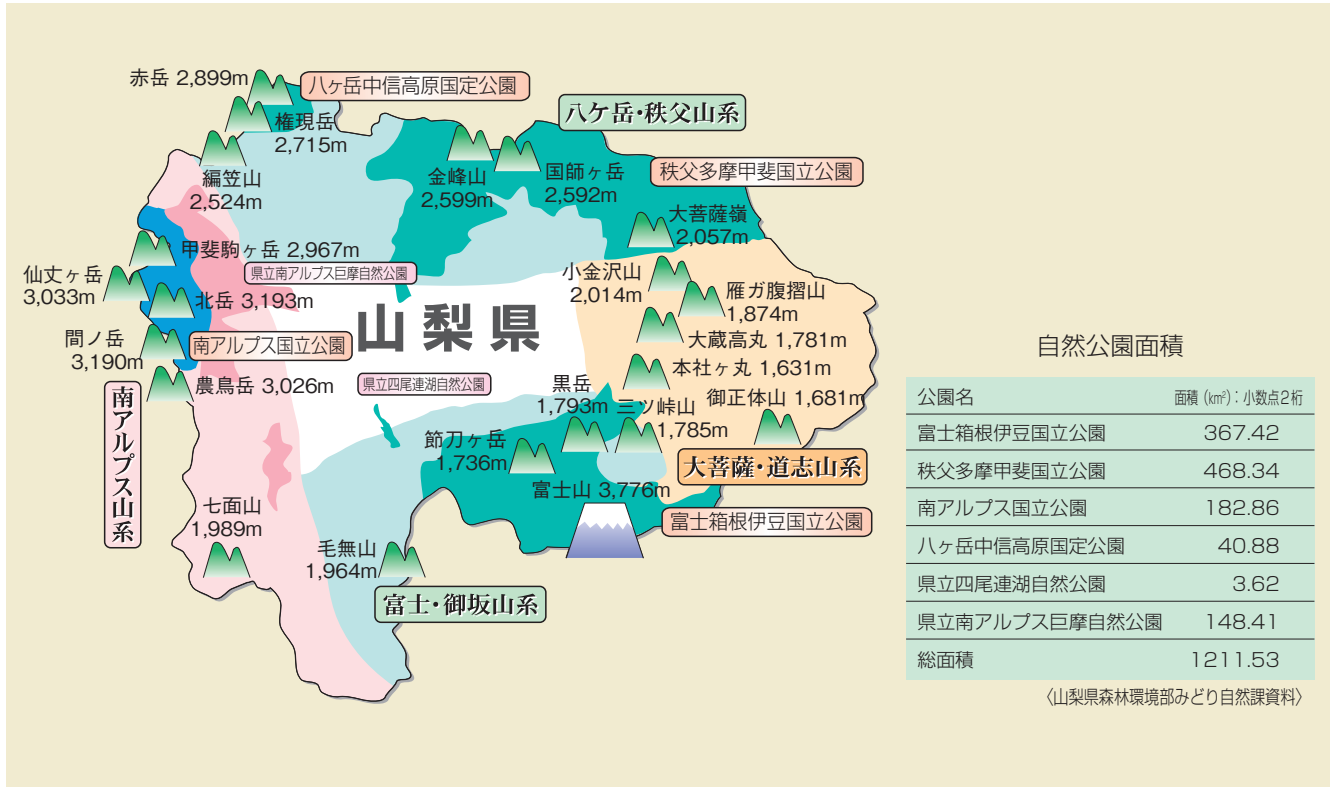
■「ソフトボール」の行動者率(年間)



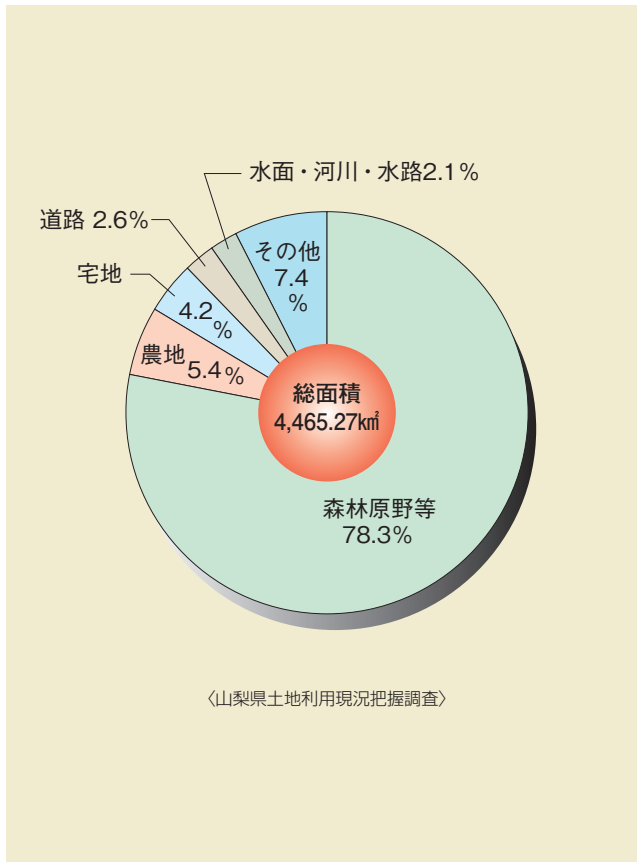
平成23年  
全国1位 5.5%

資料:平成23年 社会生活基本調査 結果報告書(統計調査課)

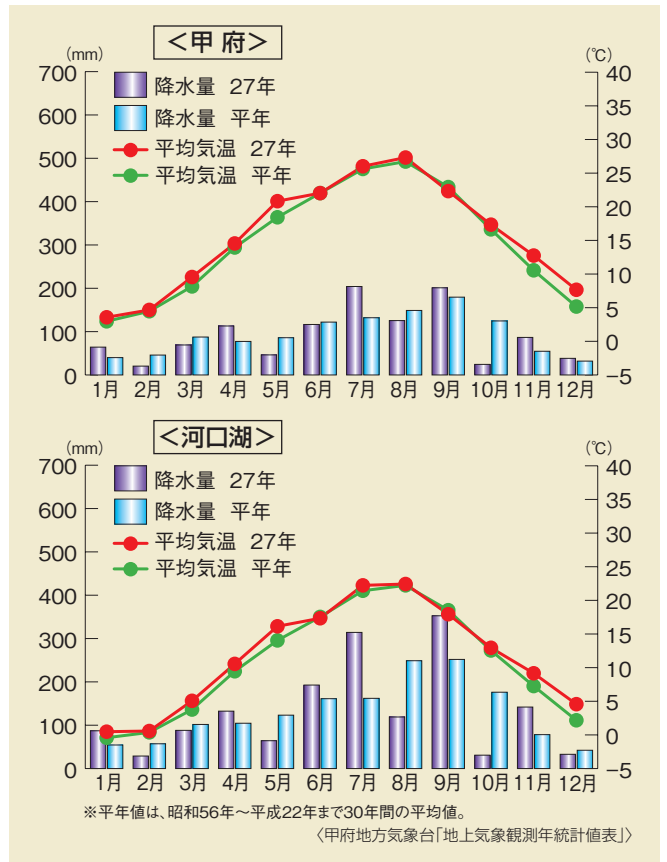
## 主な山梨百名山・自然公園面積



## 山梨県土地利用状況(平成27年10月1日)

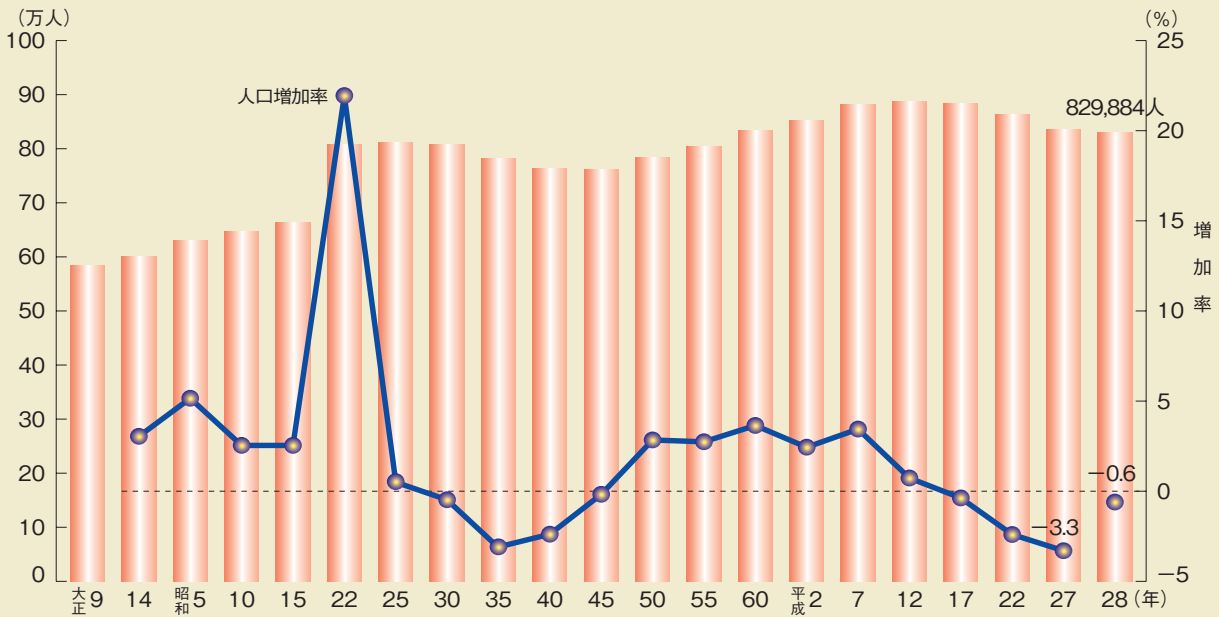


## 月別平均気温と降水量(平成27年)



本県は、富士山をはじめ南アルプス・八ヶ岳・奥秩父などを擁する日本でも有数の山岳県ですが、これらの山々の中からハイキングの楽しめる身近な山から本格的な登山向きの山まで多種多様な山を選び「山梨百名山」として紹介しています。また、従来より8月8日をやまなし「山の日」と定め、ふるさとの山や森を見つめ直し、その恩恵に感謝する日としてきました。平成28年からは8月11日が祝日「山の日」となり、山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する日となりました。

本県人口及び人口増加率の推移(大正9年～平成28年)

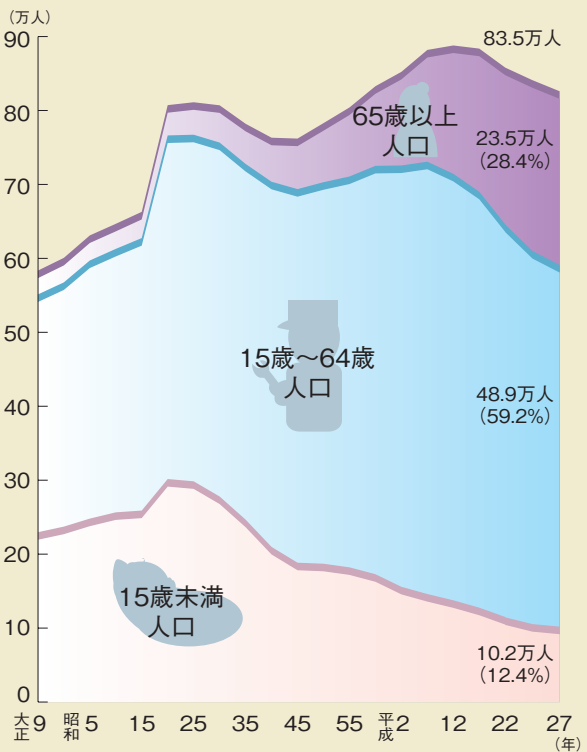


初めての国勢調査が行われた大正9年の人口は583,453人でしたが、以後増加を続け、昭和22年には807,251人と初めて80万人を記録。その後減少したものの、昭和50年からは増加に転じ、平成12年に888,172人と最多となりました。しかし、平成17年には再び減少に転じました。

注) 大正9年～平成27年の人口増加率は5年間の数値、平成28年の人口増加率は1年間の数値

〈大正9年～平成27年は総務省「国勢調査」、平成28年は「山梨県常住人口調査」〉

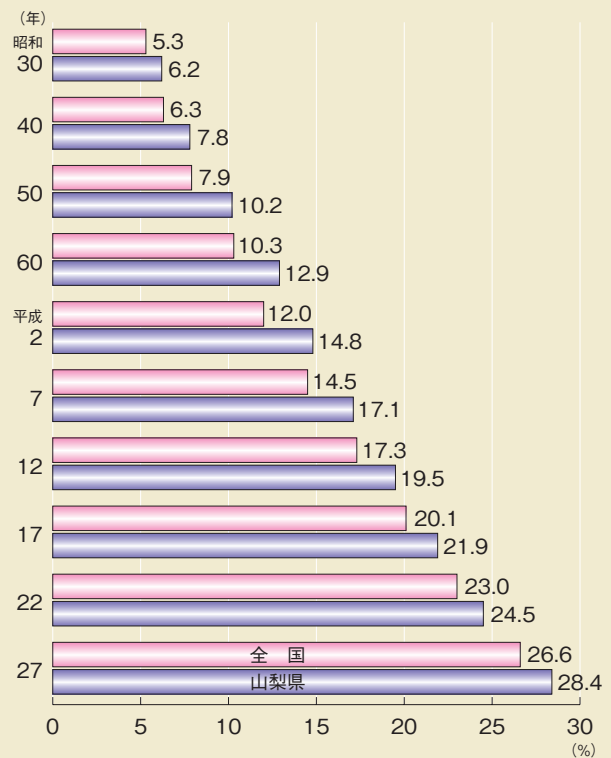
年齢別人口の推移(大正9年～平成27年)



注) 総数には年齢不詳を含む

〈総務省「国勢調査」〉

本県と全国の65歳以上人口割合の推移(昭和30年～平成27年)



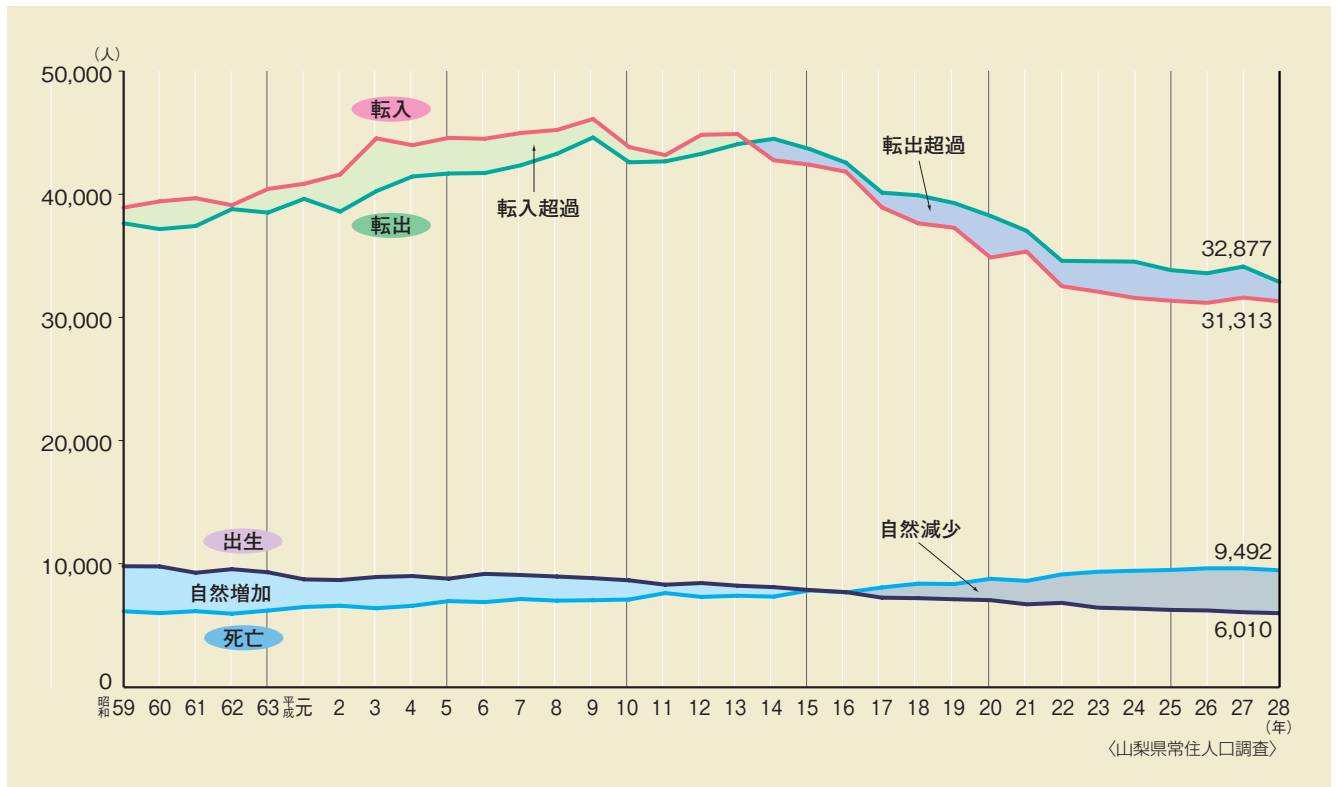
〈総務省「国勢調査」〉

平成28年10月1日現在の人口は、82万9,884人となっています。

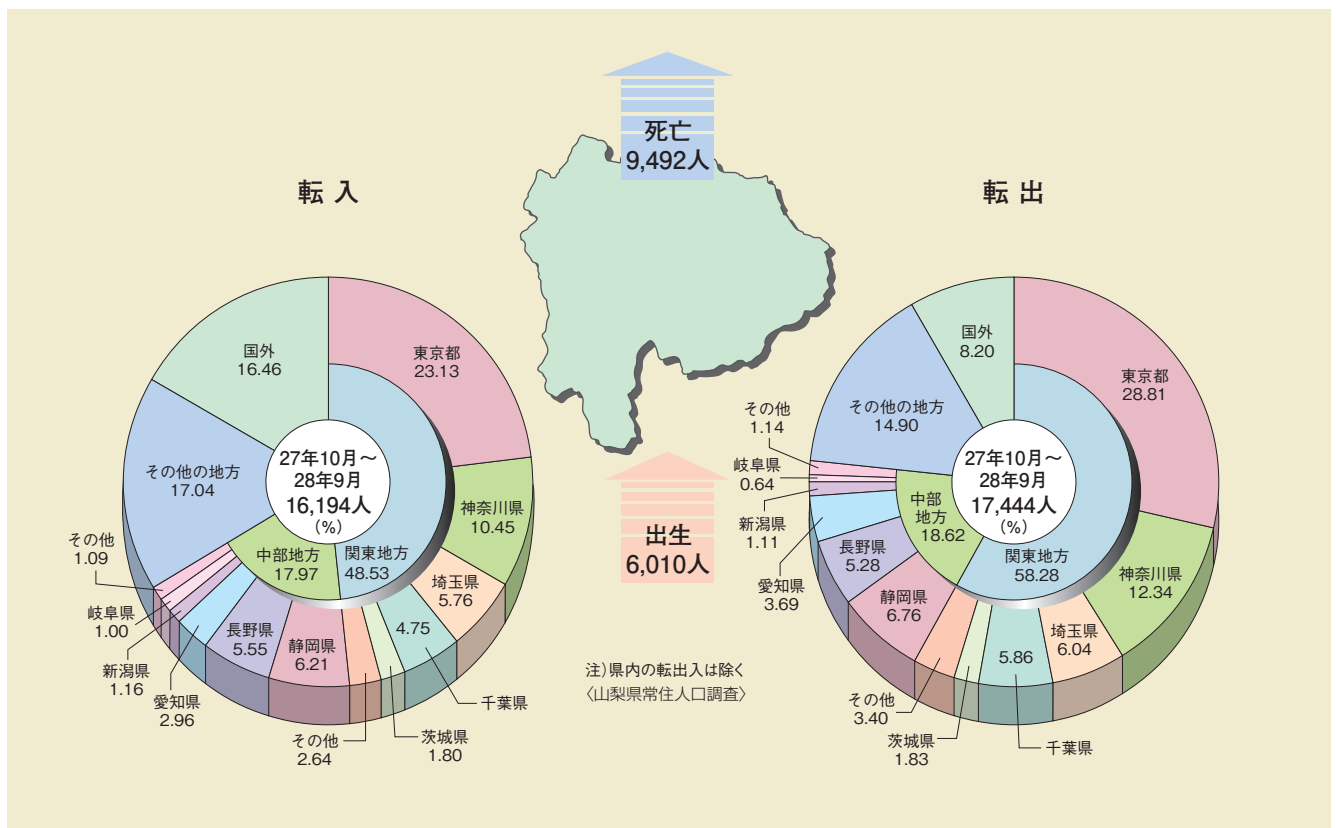
平成27年10月1日現在の人口を国勢調査結果で年齢別にみると、15歳未満人口10.2万人(12.4%)、15歳～64歳人口48.9万人(59.2%)、65歳以上人口23.5万人(28.4%)となっていて、平成7年以降65歳以上人口が15歳未満人口を上回り平成27年では4分の1を超えています。

# 人口

## 人口動態の推移 (各年ともに前年10月1日～当年9月30日)



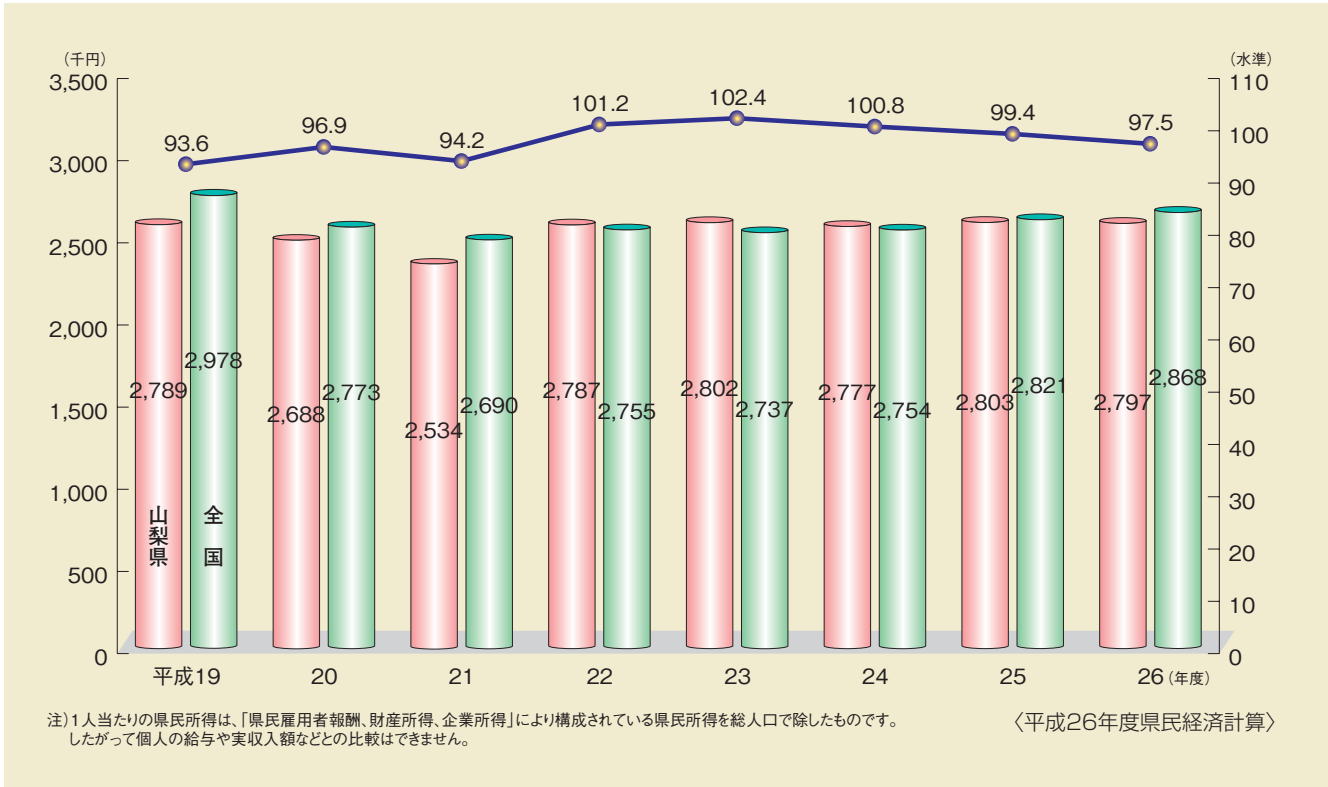
## 人口動態 (平成27年10月1日～28年9月末)



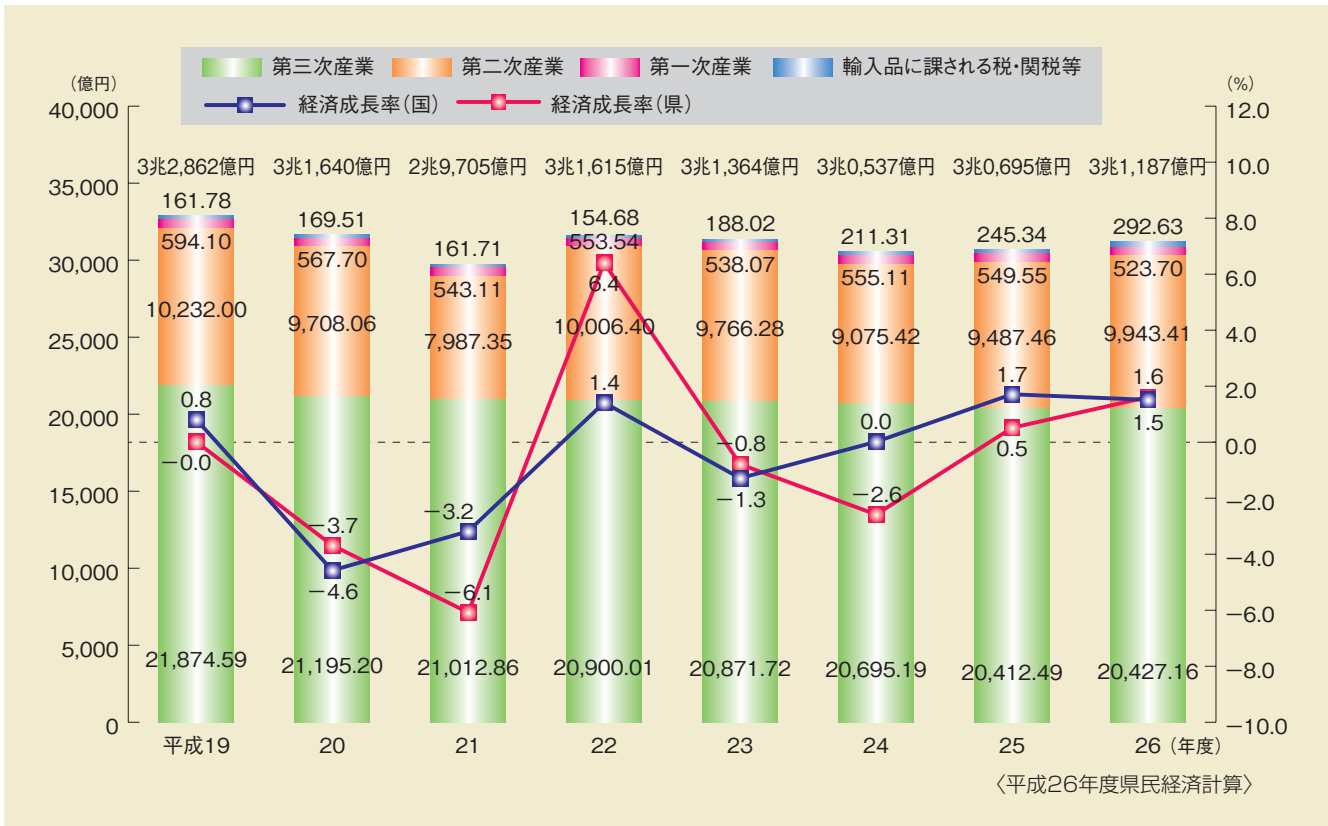
平成27年10月1日から平成28年9月30日までの人口の動きを見ると、出生6,010人、死亡9,492人で、3,482人の自然減となっています。また、転入者31,313人、転出者32,877人で、1,564人の社会減となっています。このうち、他道府県及び国外からの転入転出者数をみると、転入者16,194人、転出者17,444人となっており、東京都、神奈川県への転入、転出が多くなっています。



### 1人当たりの県(国)民所得と国との水準の推移



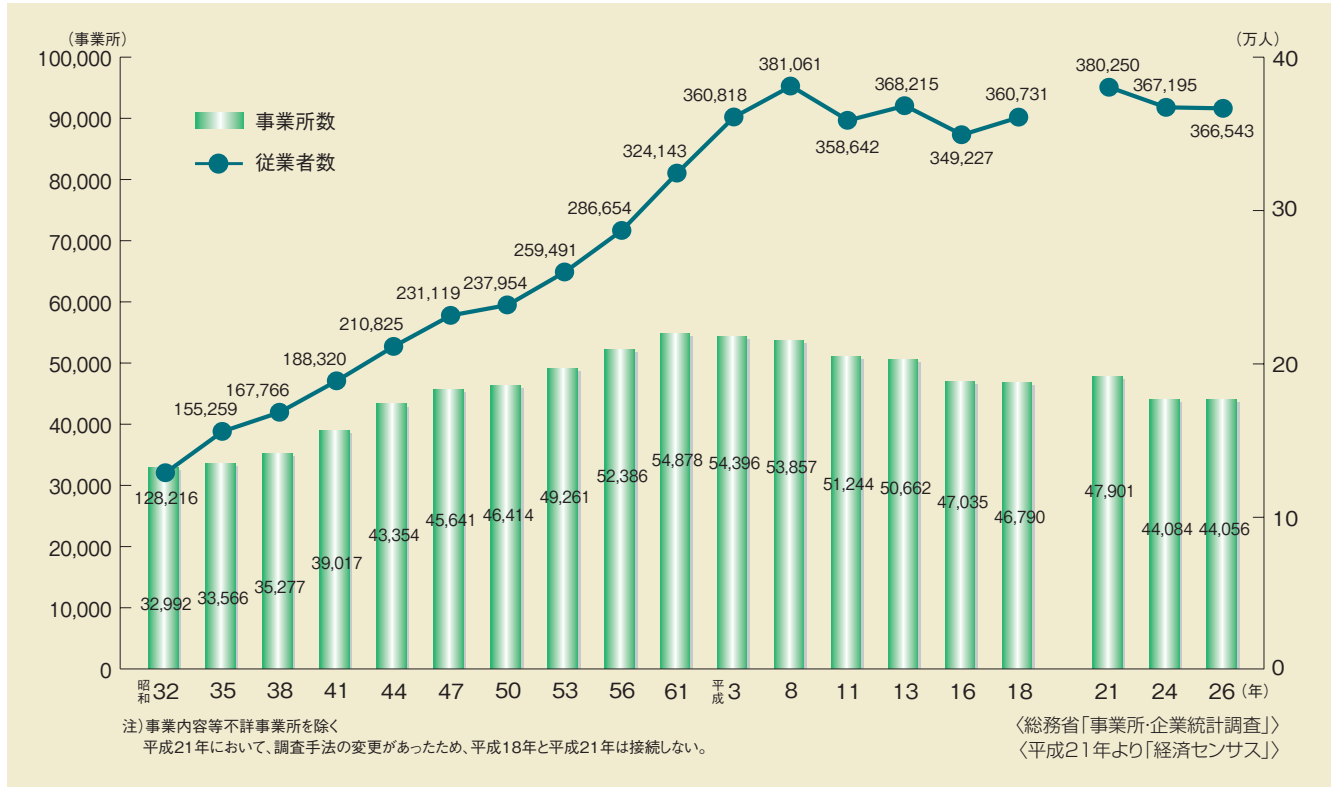
### 県内総生産の推移及び経済成長率の推移(名目)



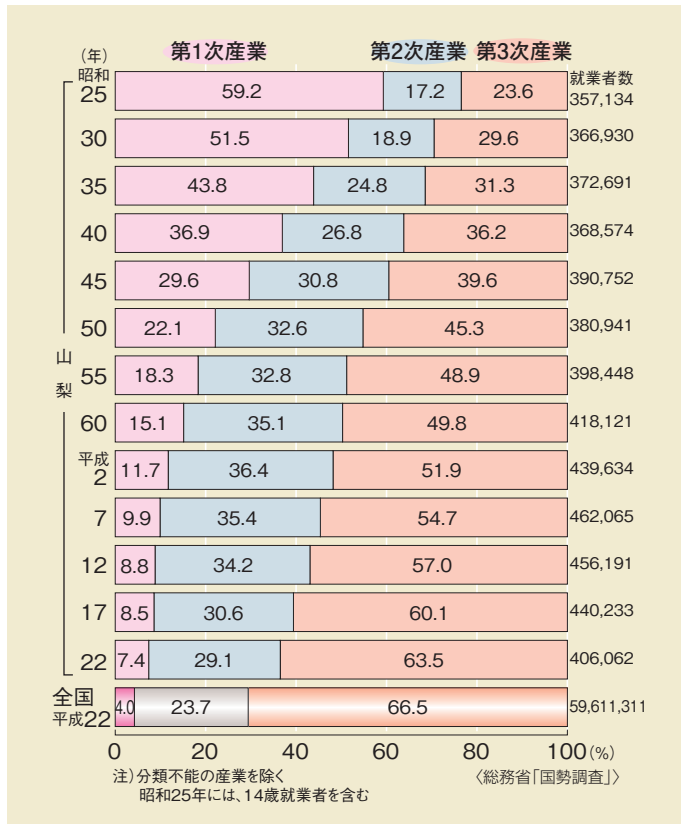
平成26年度の県内総生産は、名目で3兆1,187億円で、前年度に比べて1.6%(492億円)の増加となりました。  
 1人当たりの県民所得は279.7万円で、前年度に比べ0.7万円減少しました。また、1人当たりの国民所得286.8万円を100とした水準は97.5となり、前年度に比べて1.9ポイント下降しました。

# 事業所

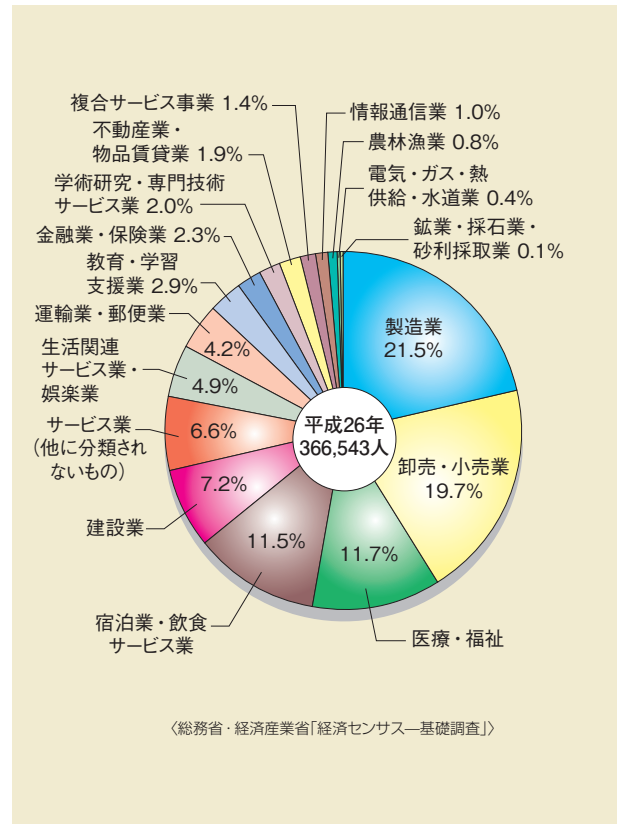
## 民営事業所数及び従業者数の推移



## 産業別(3部門)就業者数(構成比)の推移



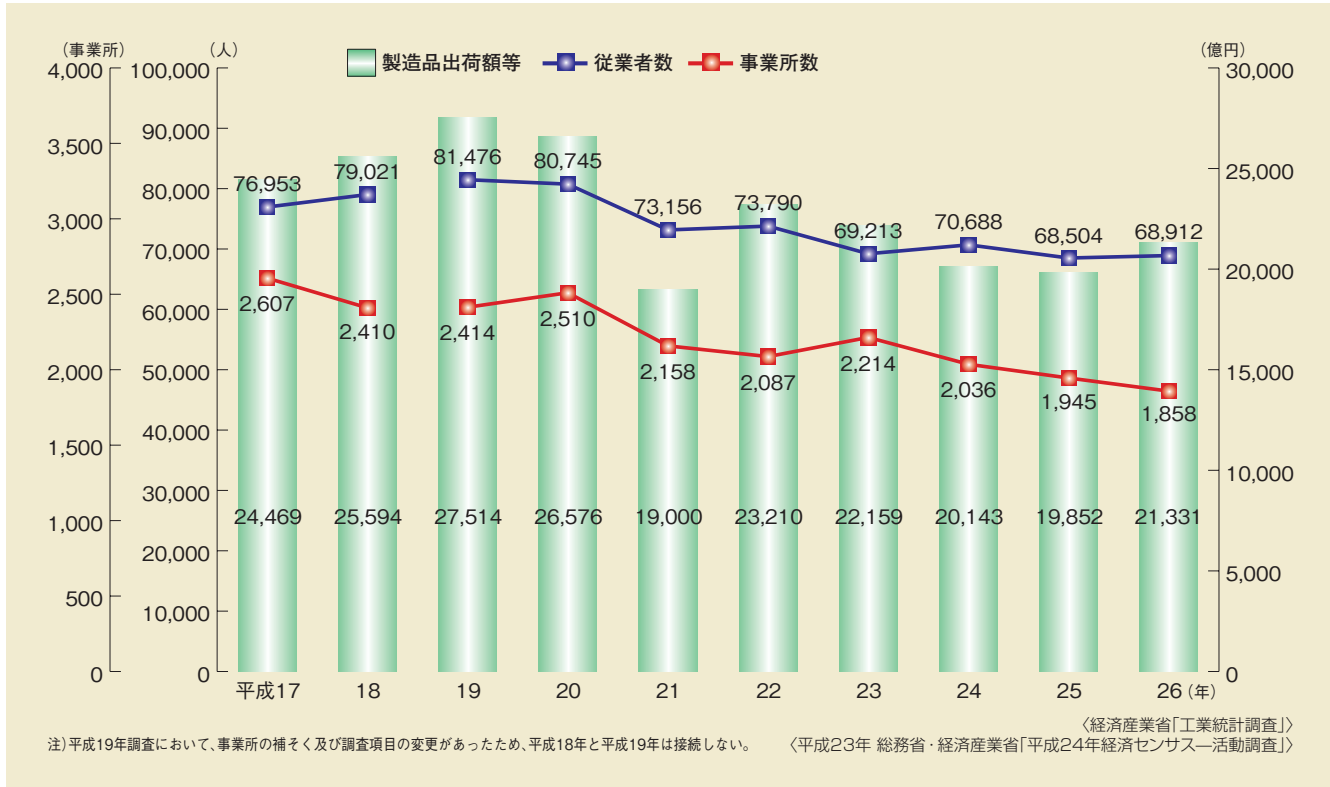
## 産業別従業者数構成比(平成26年)



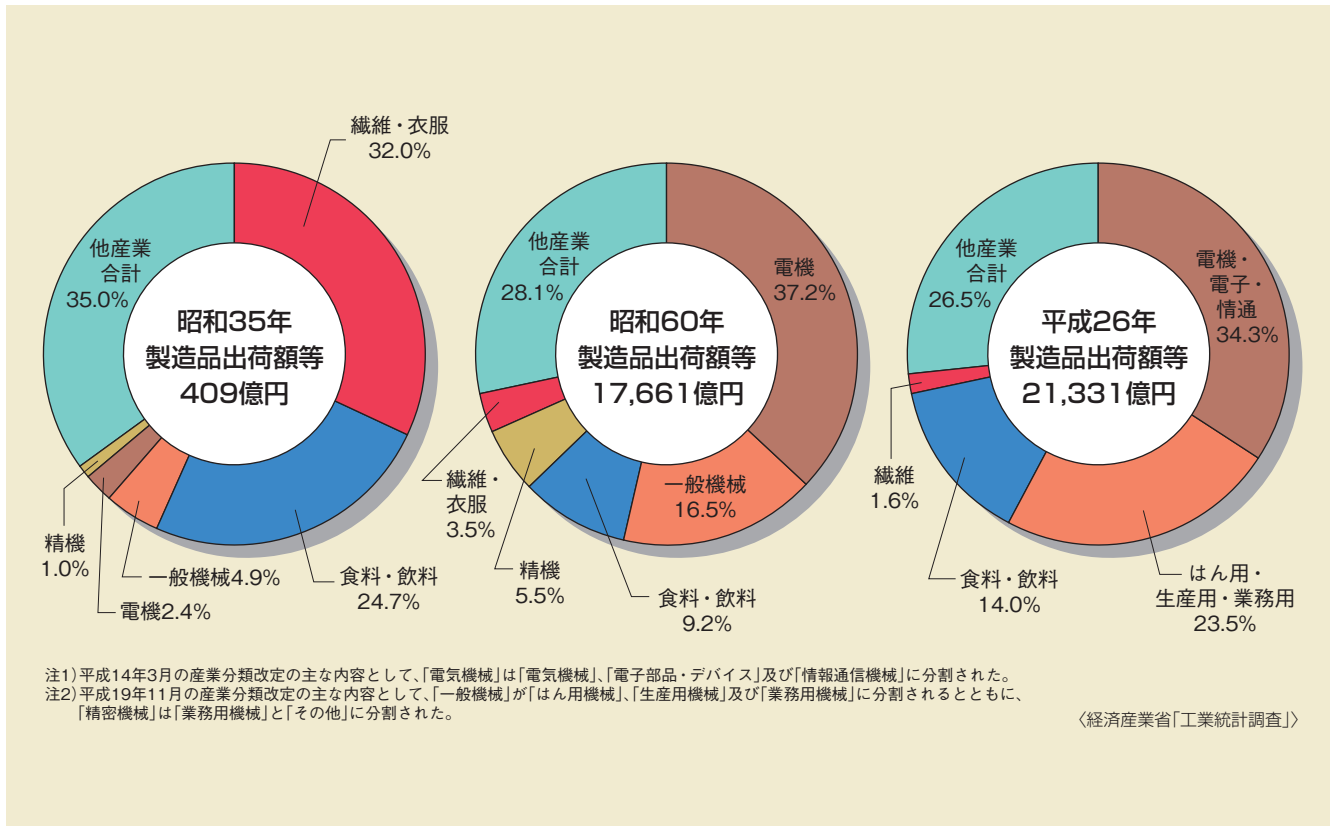
平成26年の事業所数は、44,056事業所で、昭和61年までは増加してきましたが、その後減少しています。また、従業者構成をみると、製造業21.5%、卸売業・小売業19.7%、医療・福祉11.7%の順となっています。

本県の産業別就業者数をみると、昭和25年には、第1次産業が全体の59.2%を占めていましたが、平成22年には、第1次産業は7.4%にまで減少し、この間に第3次産業が23.6%から63.5%へと増加しています。

製造業における事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移(従業者4人以上の事業所)



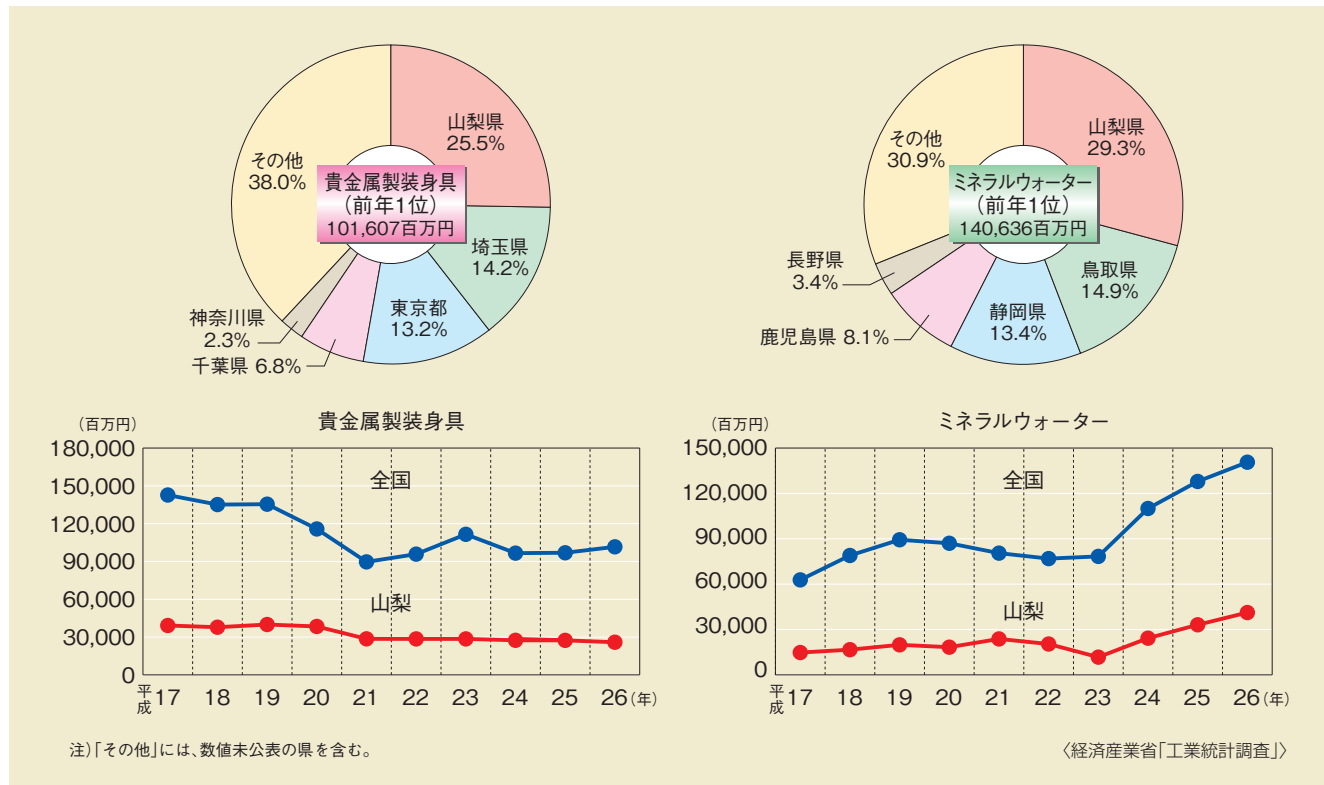
産業別製造品出荷額等の構成の変化(従業者4人以上の事業所)



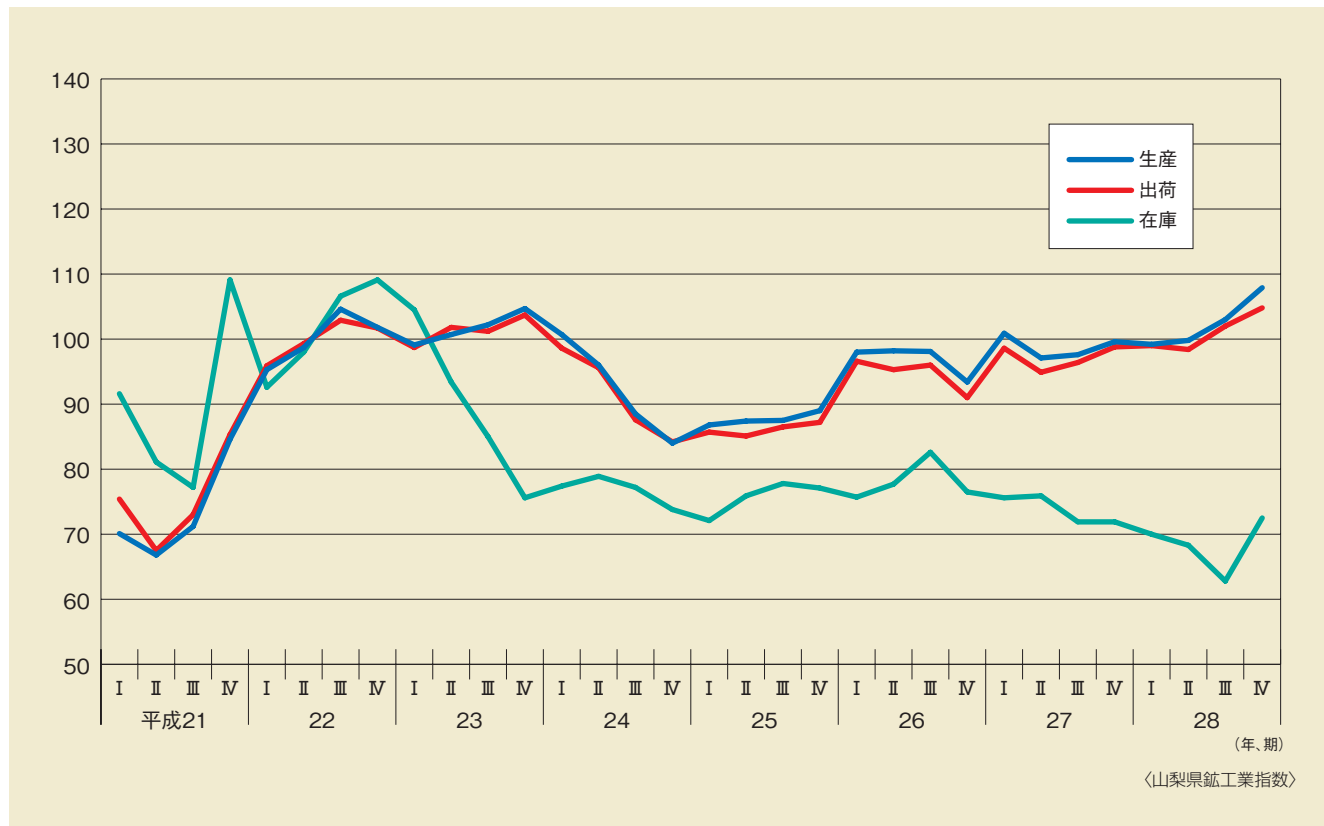
平成26年の従業者4人以上の製造業の事業所数は、1,858事業所、従業者数は、68,912人、製造品出荷額等は2兆1,331億円で、事業所数は平成25年と比べ減少しました。

産業分類の改定により単純な比較はできませんが、産業分類別の製造品出荷額等をみると、昭和35年は繊維・衣服が全体の約3分の1を占めていました。平成26年は電機・電子・情通とはん用・生産用・業務用の合計が全体の約6割を占めています。

## 製造品出荷額全国1位の品目と推移(従業者4人以上の事業所) (平成26年)



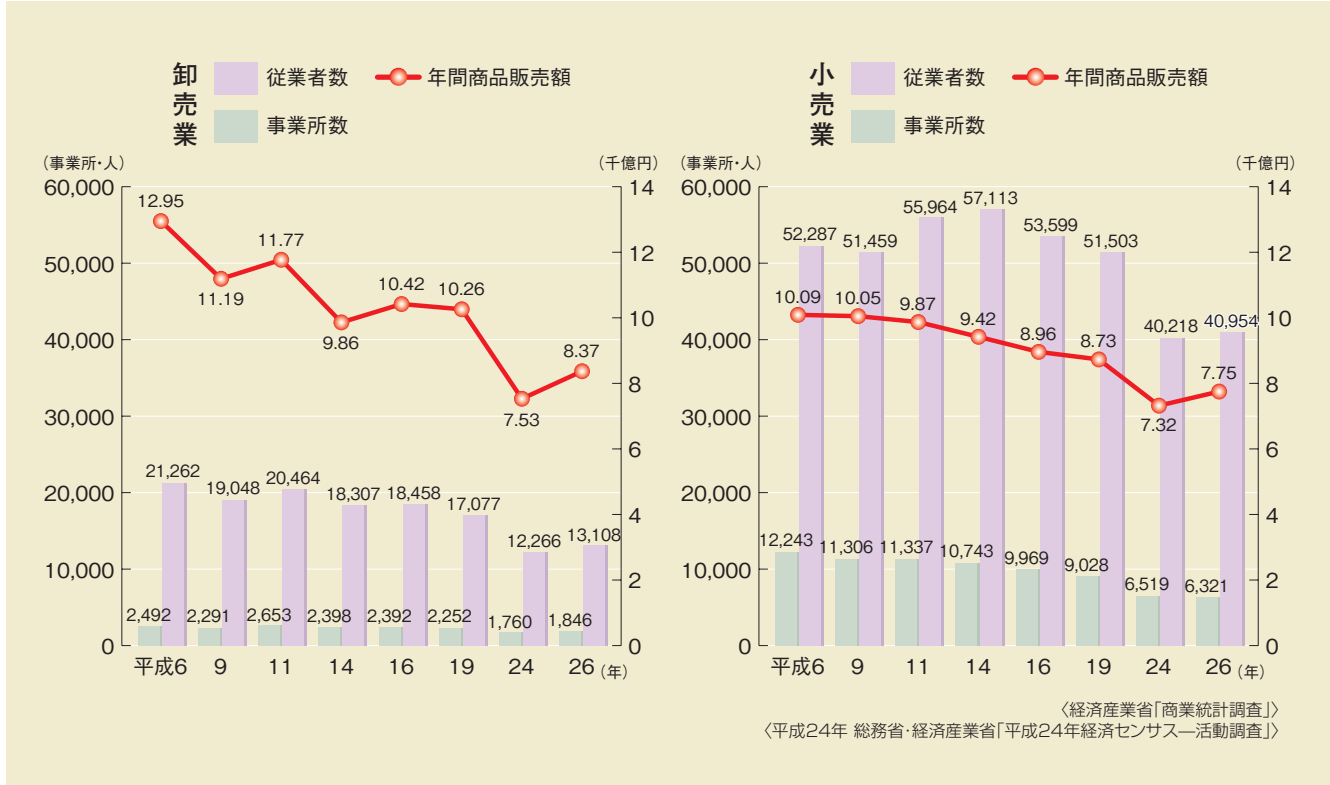
## 鉱工業指数の推移(平成22年=100 季節調整済)



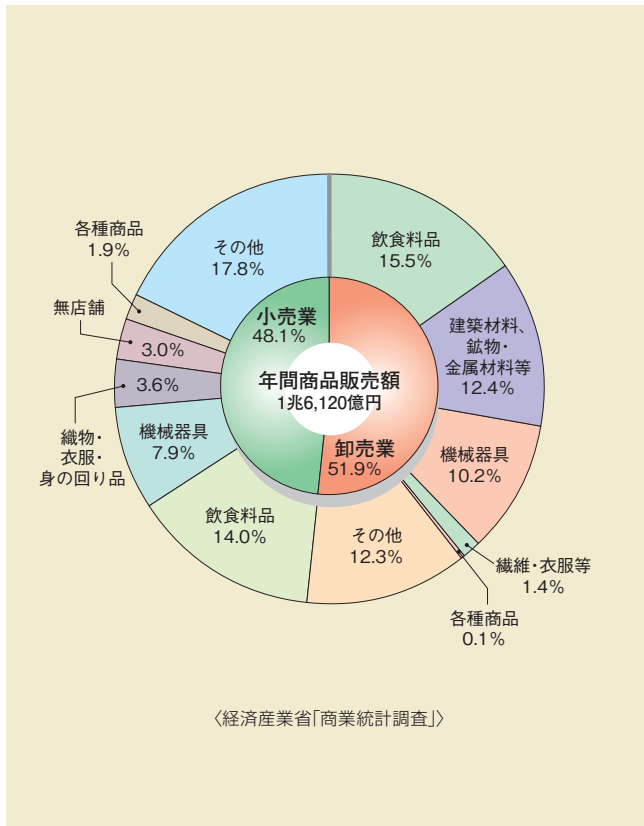
平成26年の品目別製造品出荷額をみると、本県は数値が公表されている都道府県の中で、貴金属製装身具、ミネラルウォーターの品目で日本一となっています。中でも、ミネラルウォーターは全国の出荷額の約3割を占めています。

鉱工業指数から本県の景気動向を推測すると、平成20年からの急激な落ち込みは平成21年Ⅲ期頃から回復してきました。その後も震災や海外経済の減速の影響などから落ち込みましたが、緩やかな回復基調が続いています。

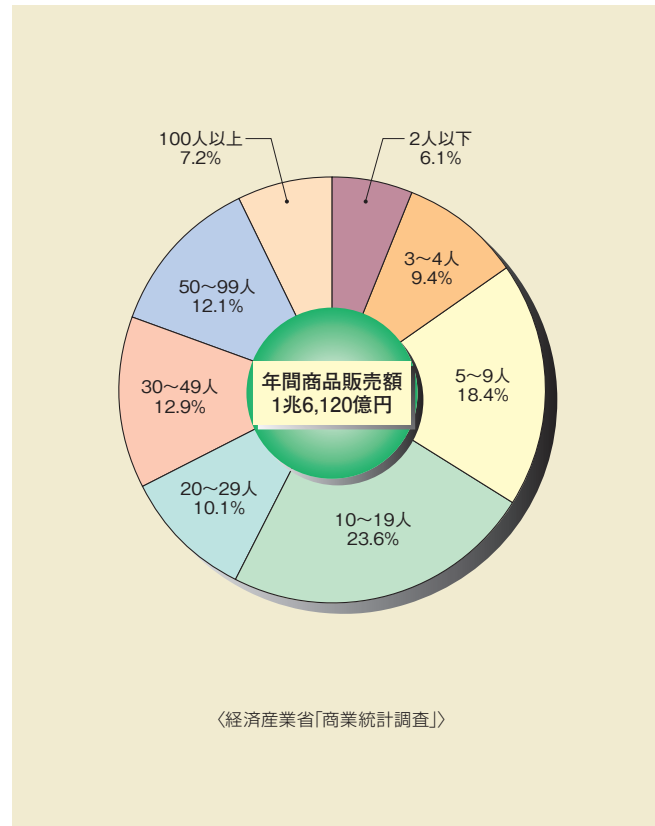
商業における事業所数・従業者数・年間商品販売額の推移



業種別年間商品販売額構成比 (平成26年)



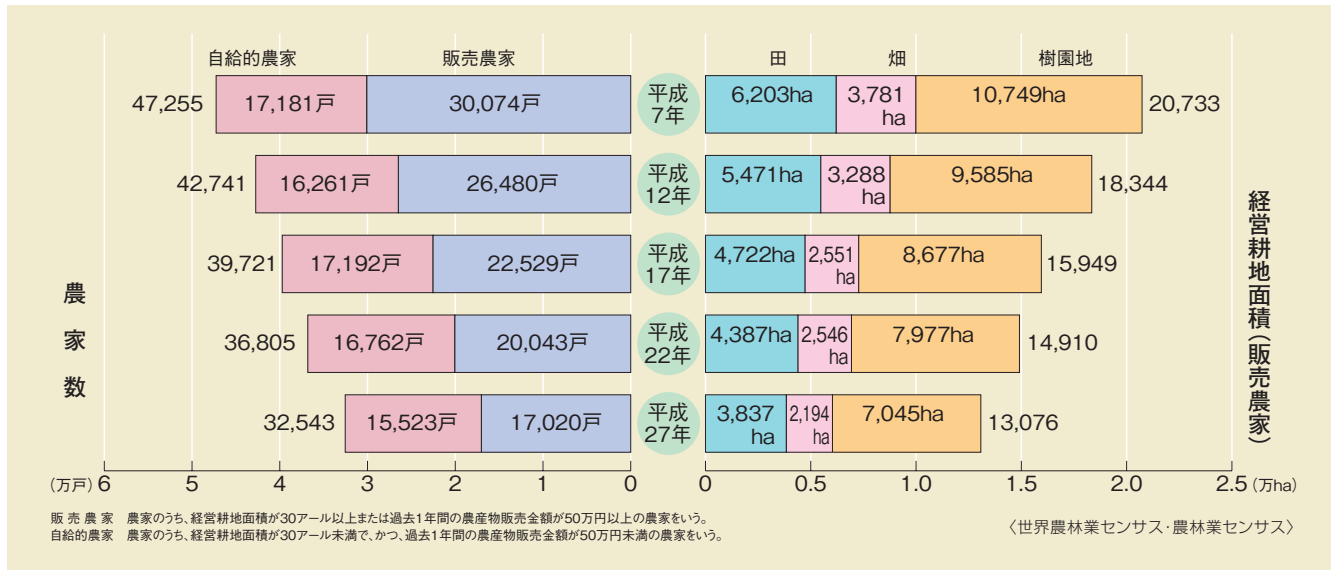
従業者規模別年間商品販売額構成比 (平成26年)



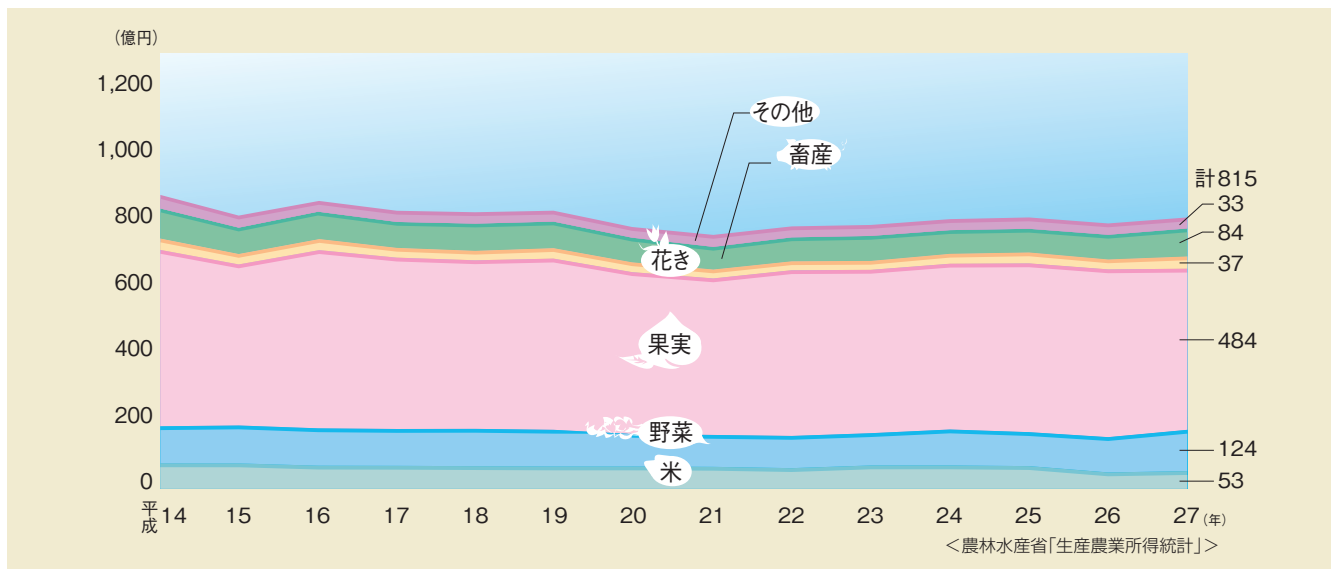
平成26年の卸・小売業数は8,167事業所、従業者数は54,062人、年間商品販売額は1兆6,120億円となっています。業種別年間商品販売額をみると、卸売業では飲食料品、建築材料、鉱物・金属材料等の順に、また、小売業では飲食料品、機械器具の順となっています。

# 農業

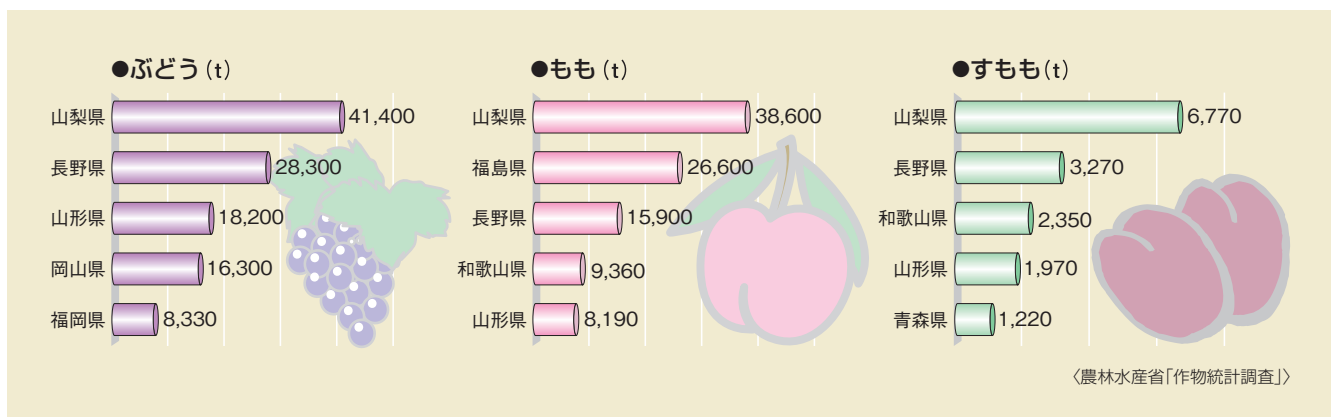
## 農家数及び経営耕地面積(販売農家)の推移



## 農業産出額の推移



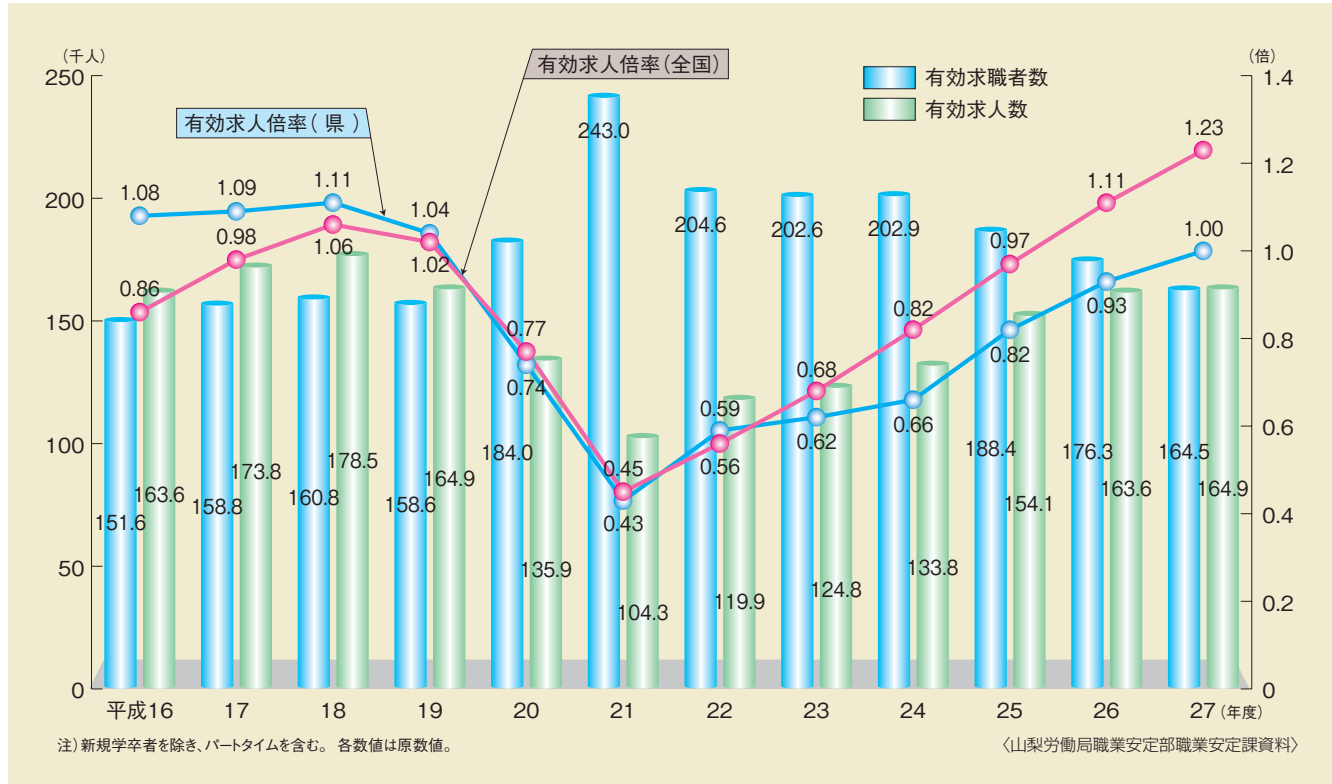
## ぶどう・もも・すももの収穫量(平成27年)



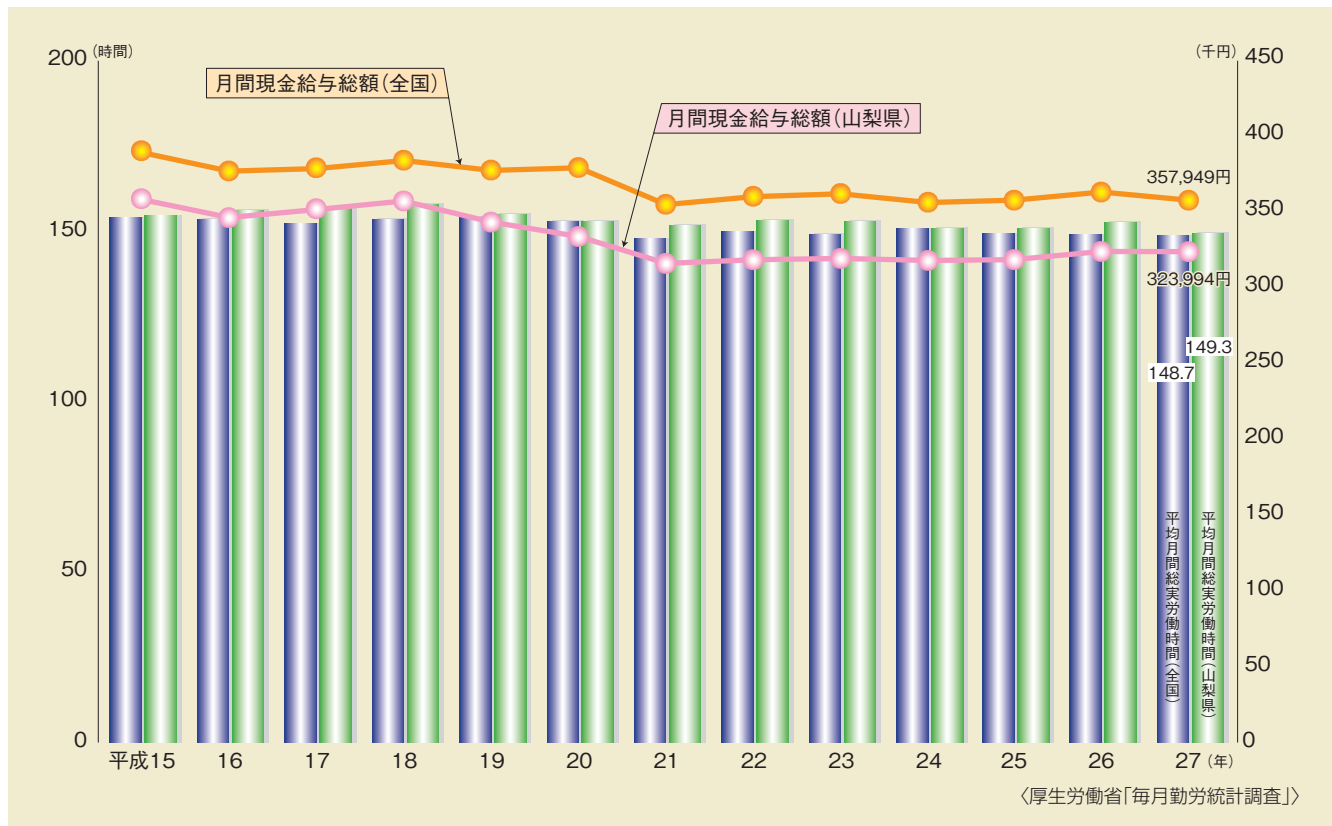
平成27年の本県の農家数及び経営耕地面積は、それぞれ32,543戸、13,076haで、平成22年と比べ農家数で4,262戸、経営耕地面積で1,834ha減少しています。

平成27年の農業産出額の割合は、果実が全体の59.4%を占め、次いで野菜の15.2%、畜産10.3%、米6.5%、花き4.5%の順となっています。また、果実のうち「ぶどう」「もも」「すもも」の収穫量は、日本一となっています。

有効求人倍率・求職者数・求人数の推移



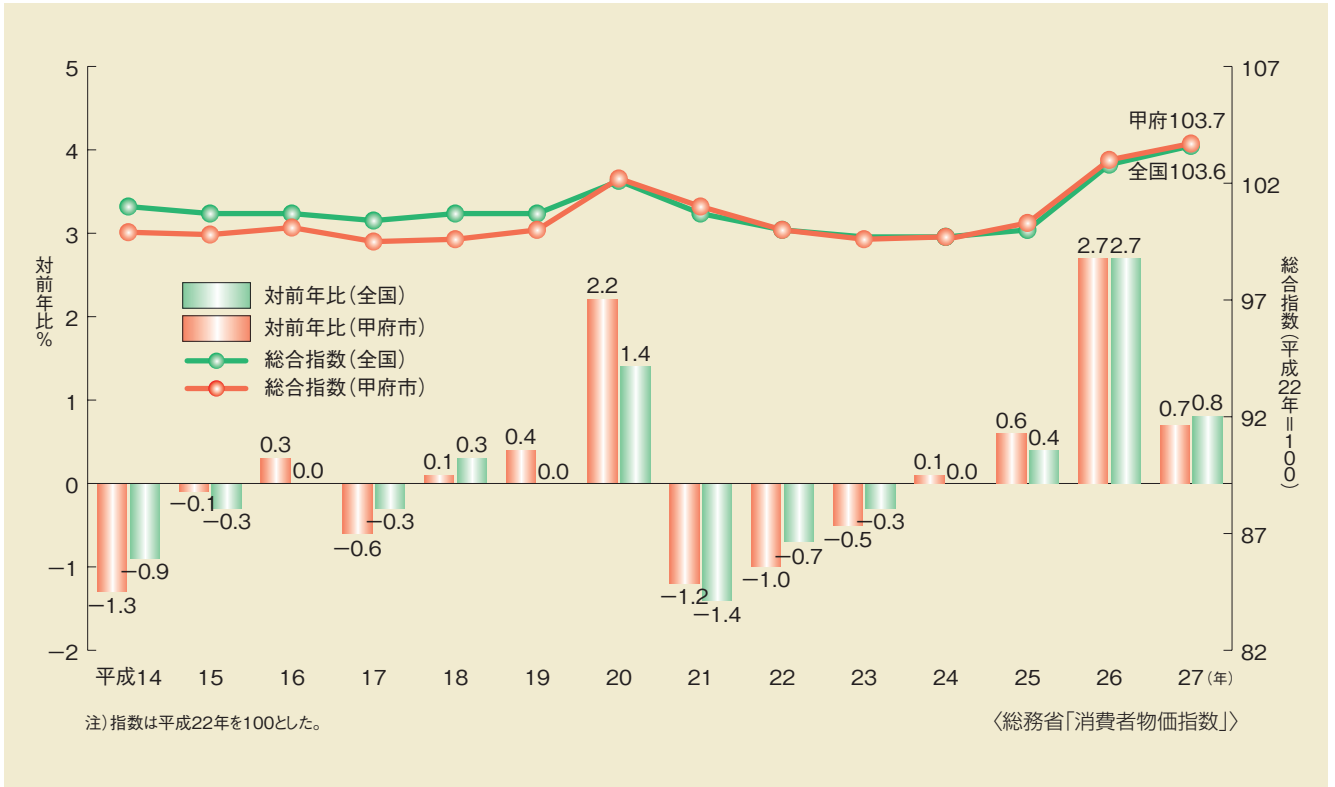
労働者1人当たり平均月間総実労働時間と現金給与総額の推移(30人以上の事業所)



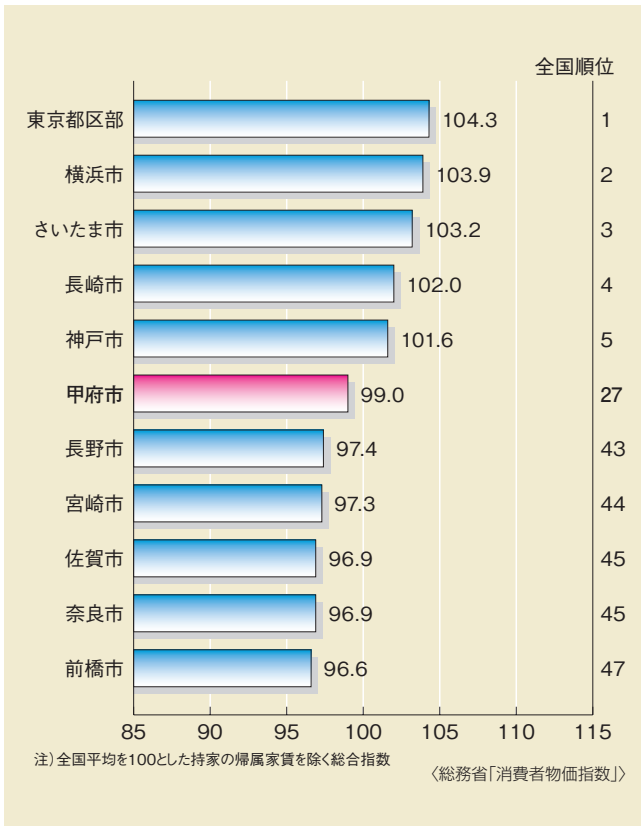
平成27年度の有効求職者数は、16万4,473人で、前年に比べて1万1,777人(6.7%)減少し、有効求人数は、16万4,888人で、前年に比べて1,274人(0.8%)増加し、有効求人倍率は、1.00倍で前年に比べて0.07ポイントの増加となりました。平成27年の労働時間をみると、労働者一人当たりの平均月間総実労働時間は149.3時間で、全国平均の148.7時間を0.6時間上回っています。一方、月間現金給与総額は、323,994円で全国平均の357,949円を33,955円下回っています。

# 物 価

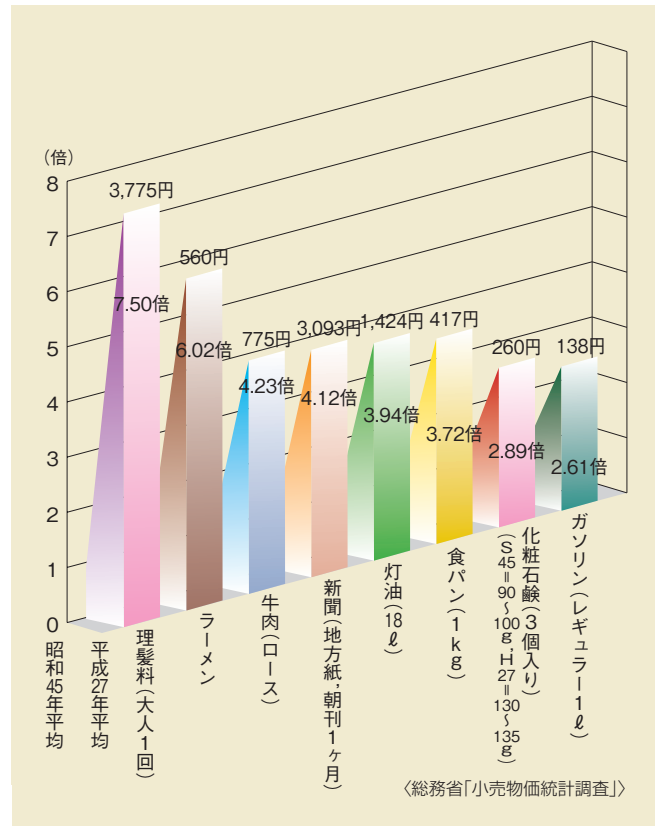
## 消費者物価指数の推移(各年平均)



## 消費者物価地域差指数(平成27年平均)



## 小売物価の比較(甲府市)

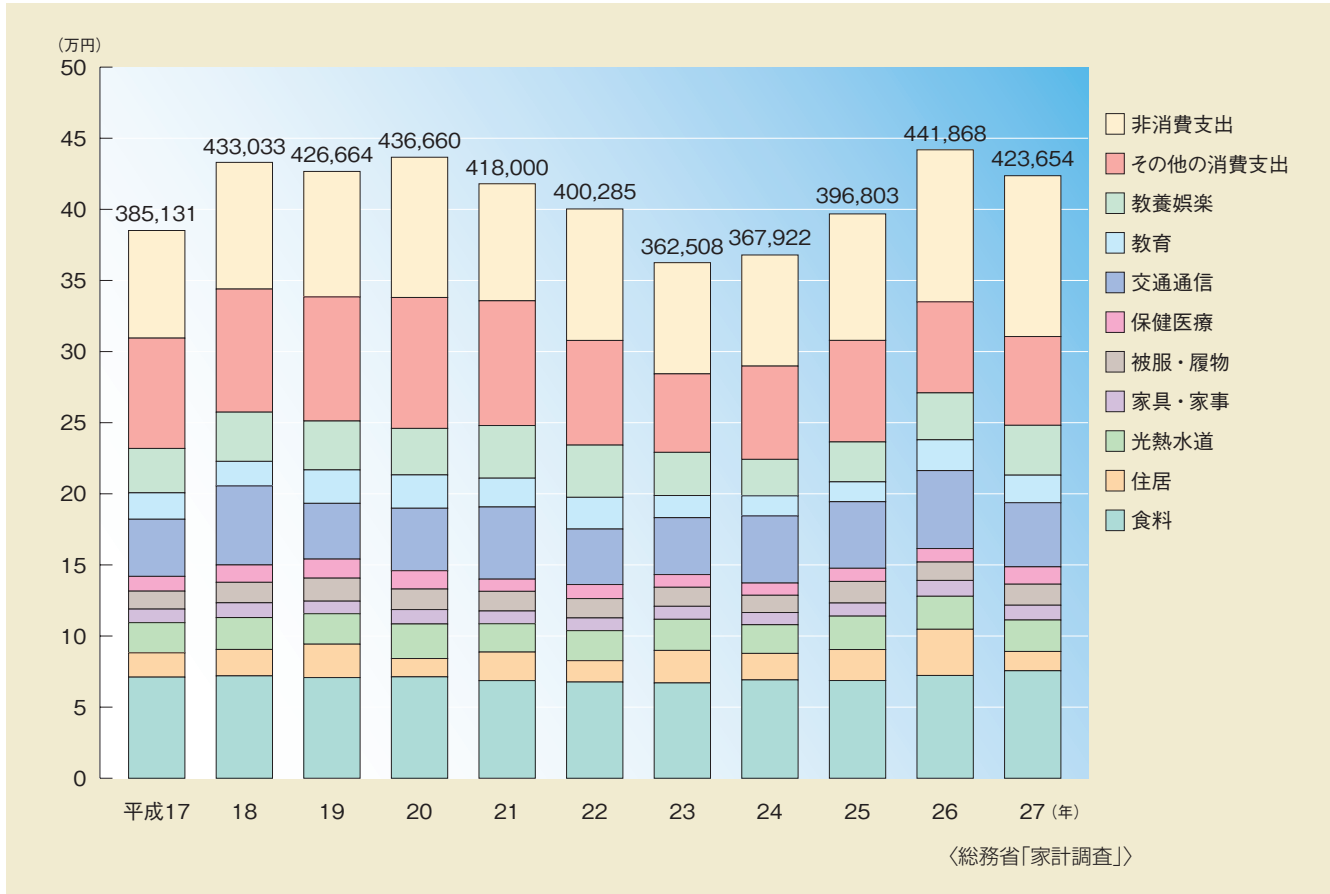


平成27年平均の甲府市の物価全体の変動を示す総合指数は、103.7(平成22年=100)となりました。物価水準の地域間の格差を示す地域差指数は、99.0(全国平均=100)となり、物価水準の最も高い東京都区部に比べ5.3ポイント低くなっています。

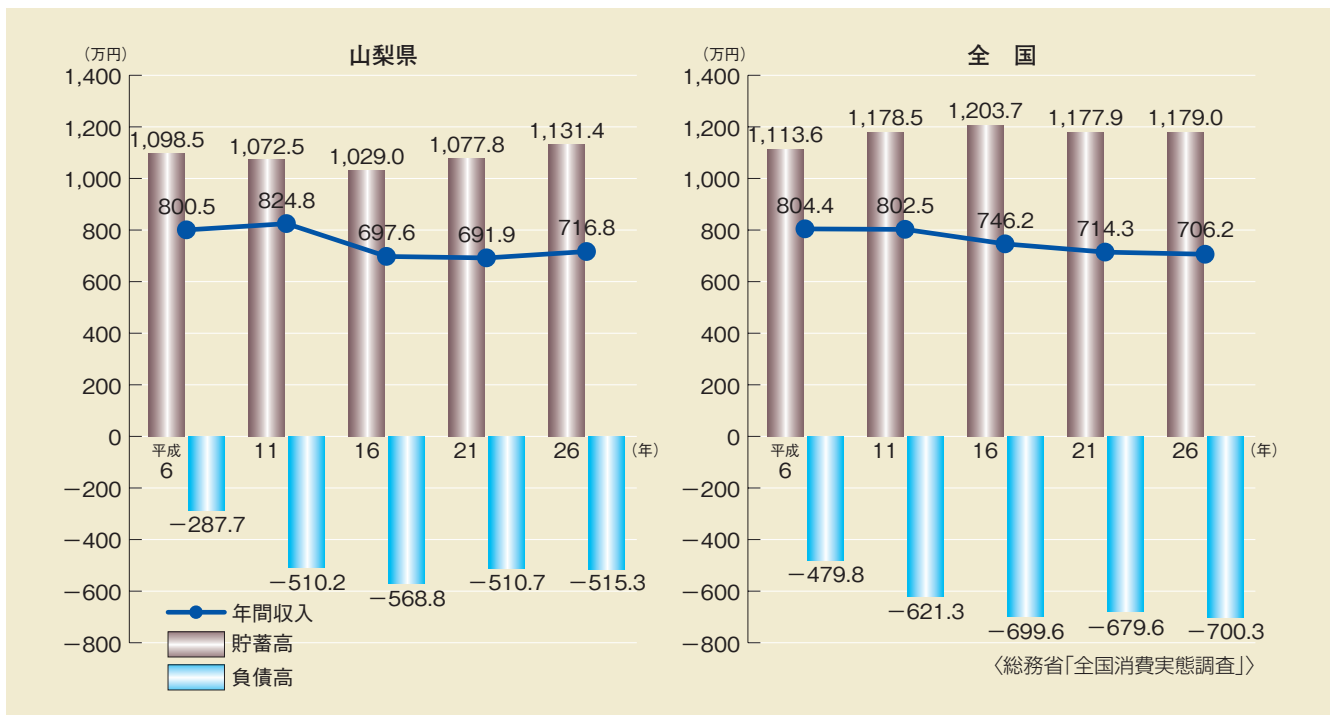
平成27年平均の小売価格を昭和45年平均と比較すると、理髪料は7.50倍、ラーメンは6.02倍、牛肉(ロース)は4.23倍などとなっています。



勤労者世帯1世帯当たり1ヶ月間の支出(甲府市)



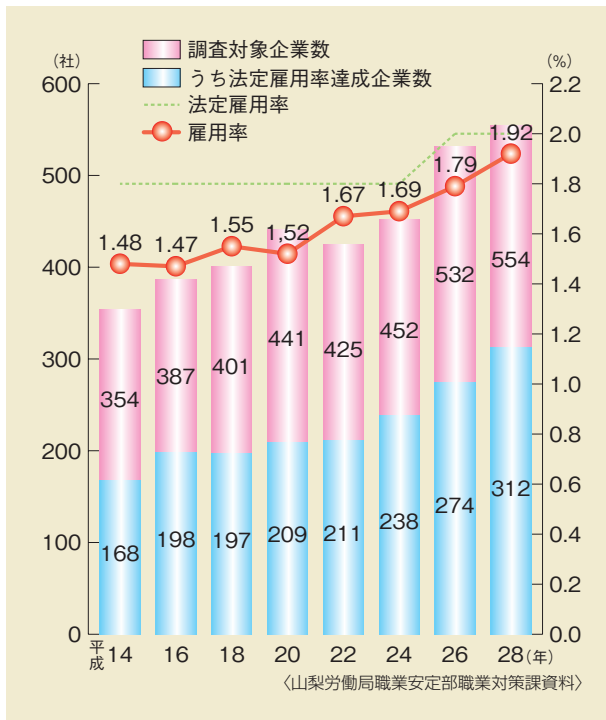
勤労者世帯1世帯当たり年間収入・貯蓄・負債残高の推移 (各年11月末日現在)



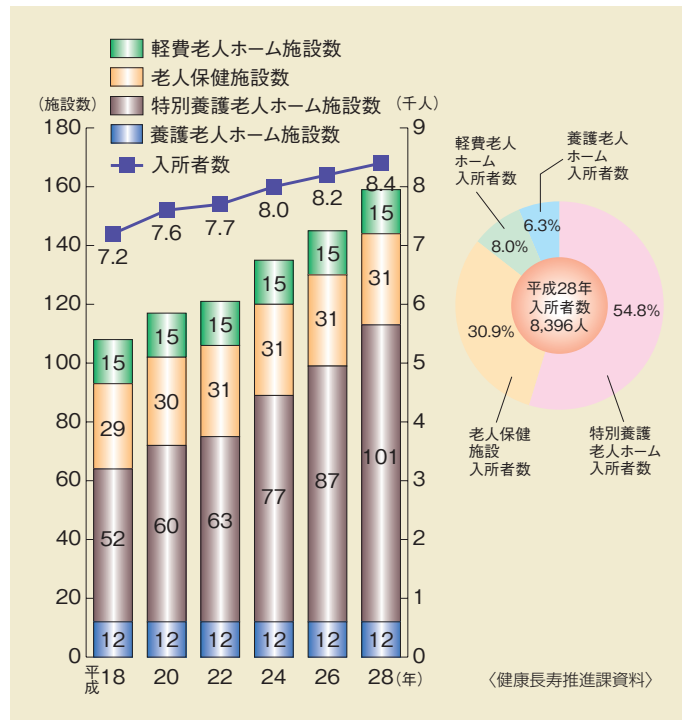
平成27年の甲府市における勤労者世帯1世帯当たり1カ月間の実支出は423,654円で、所得税、住民税、年金掛金、健康保険料などの非消費支出が26.7% (113,067円)、消費支出は全体の73.3% (310,586円) となっています。

平成26年における山梨県の勤労者世帯1世帯当たりの貯蓄現在高は1,131万4千円、負債現在高は515万3千円となっています。

障害者雇用率等の推移(民間企業) (各年6月1日現在)



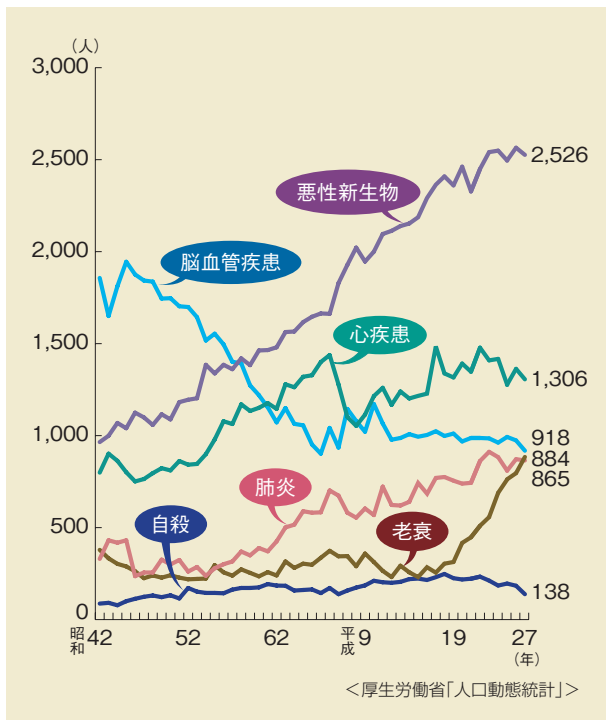
老人関係施設入所者数の推移 (各年8月1日現在)



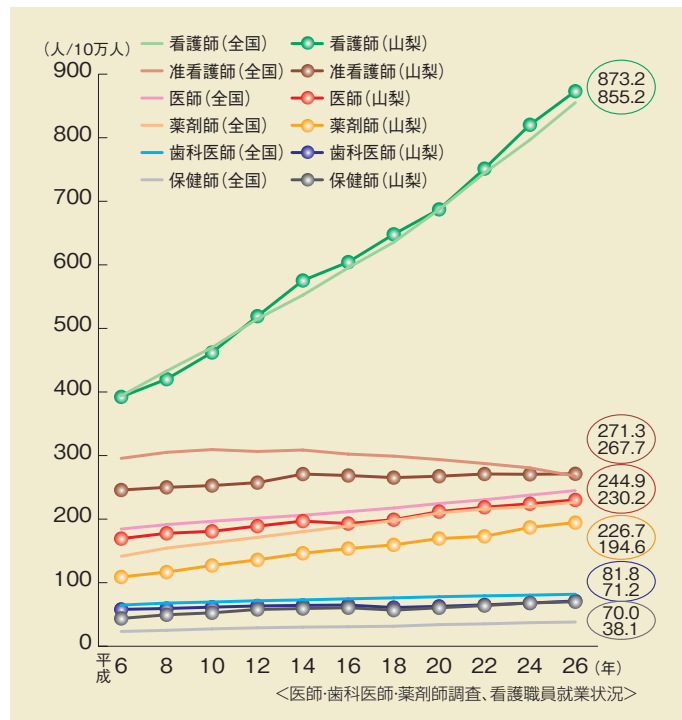
本県の障害者雇用率は平成28年6月1日現在1.92%であり、法定雇用率の2.0%を0.08ポイント下回っています。また、法定雇用を達成している企業は312社で、達成率は56.3%となっています。

平成28年8月1日現在の老人関係施設の入所者数は8,396人で、前年と同水準となっています。また、施設数は159施設で、平成18年と比べると51施設(47.2%)増加しています。

主な死因別死亡者数の推移



医療従事者数の推移

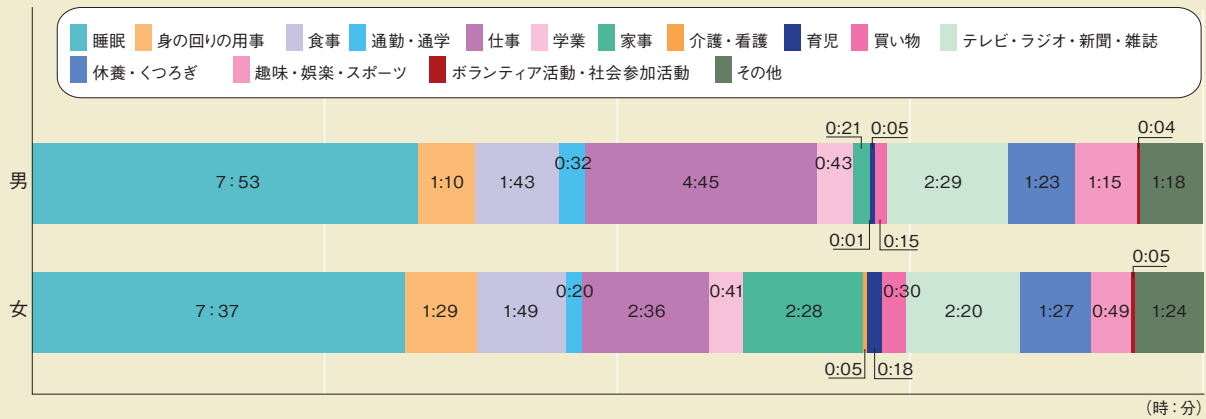


本県の死亡者を主な死因別にみると、悪性新生物、心疾患、脳血管疾患の順となっています。

本県の人口10万人あたりの医療従事者数は、看護師、准看護師、保健師がいずれも全国平均を上回っています。

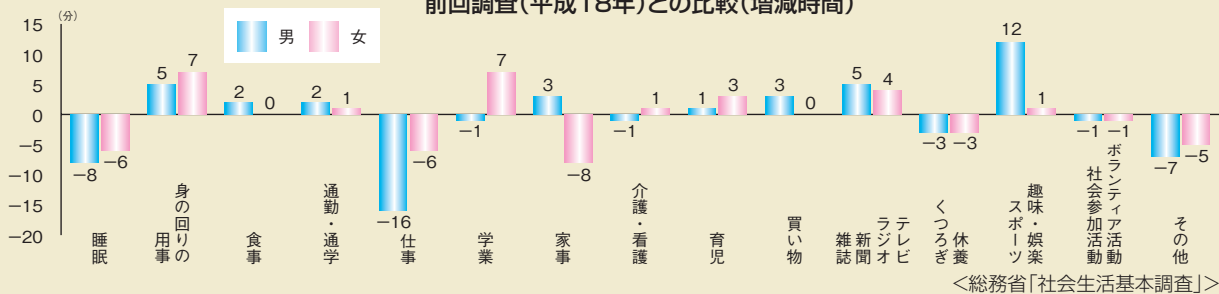
特に、平成26年12月31日現在における看護師数については平成6年と比べると480.9人/10万人(122.6%)増加しています。

生活行動の種類別平均時間(平成23年)



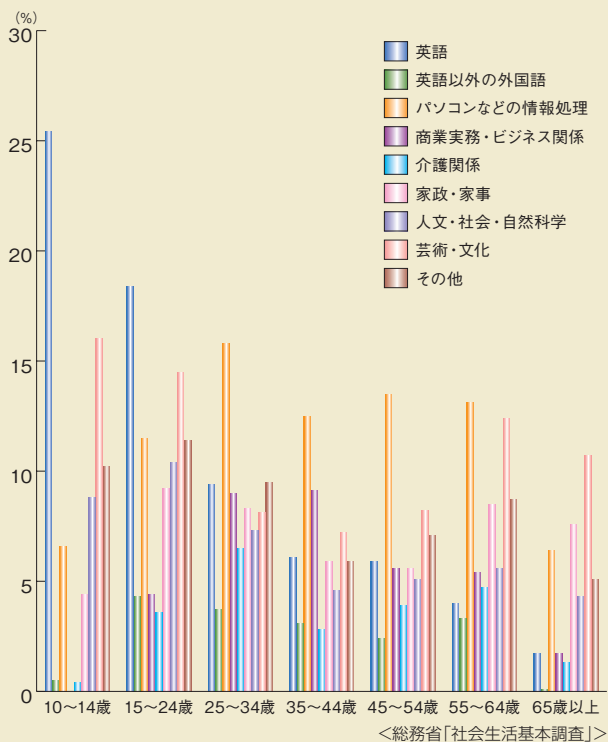
(時:分)

前回調査(平成18年)との比較(増減時間)



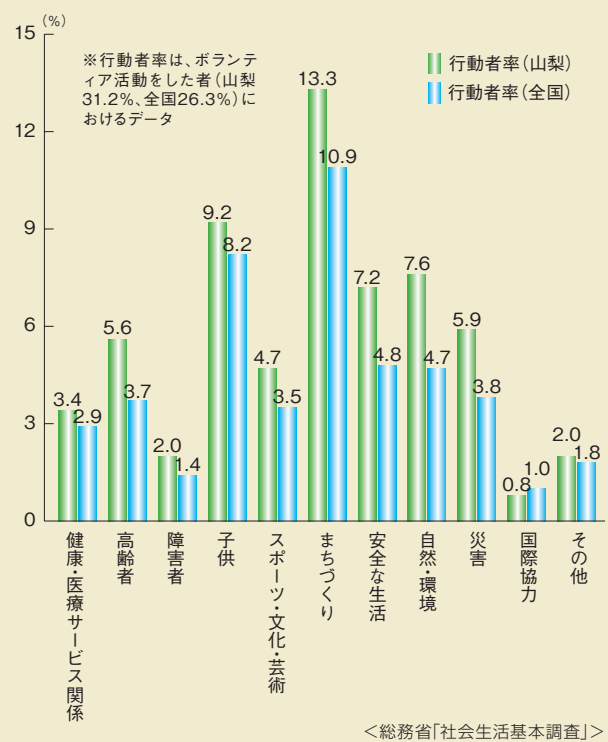
<総務省「社会生活基本調査」>

学習・自己啓発・訓練の行動者率(平成23年)



<総務省「社会生活基本調査」>

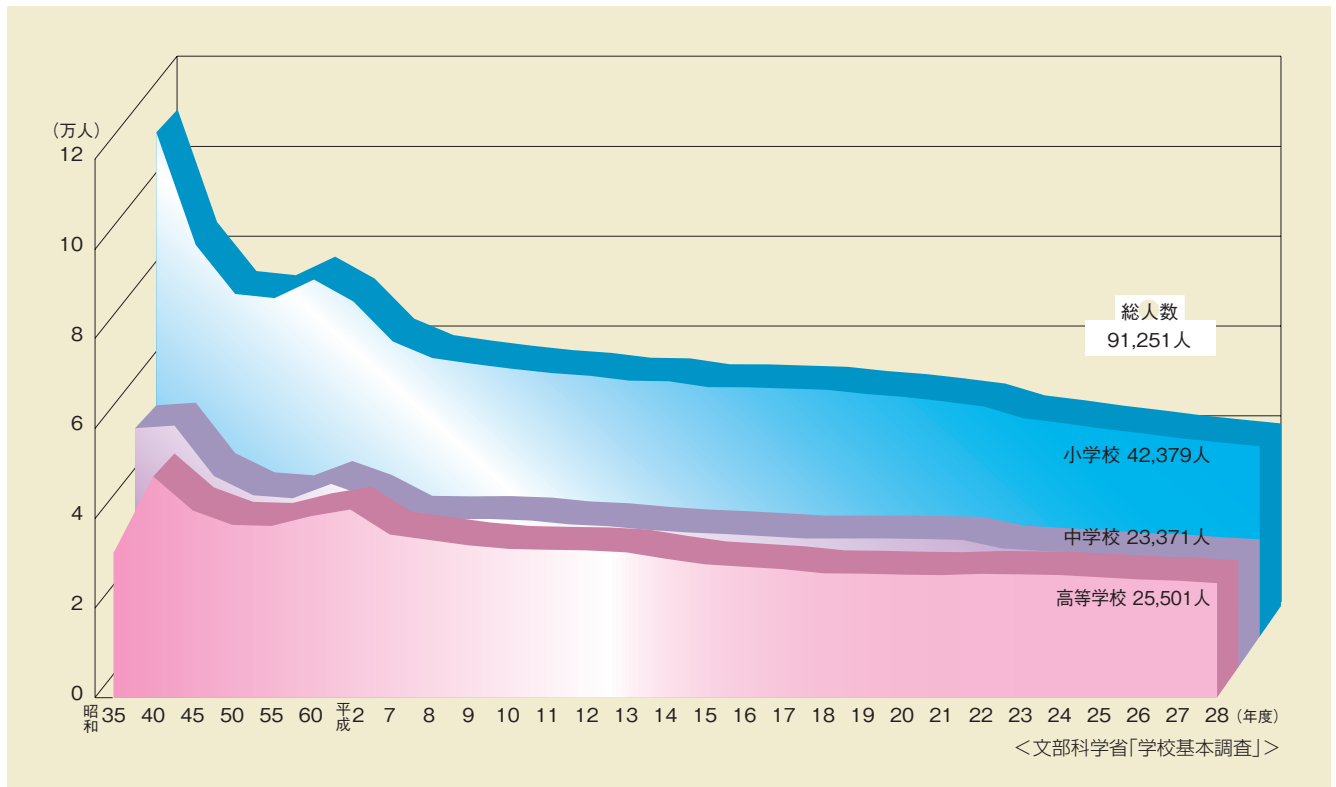
ボランティア活動(平成23年)



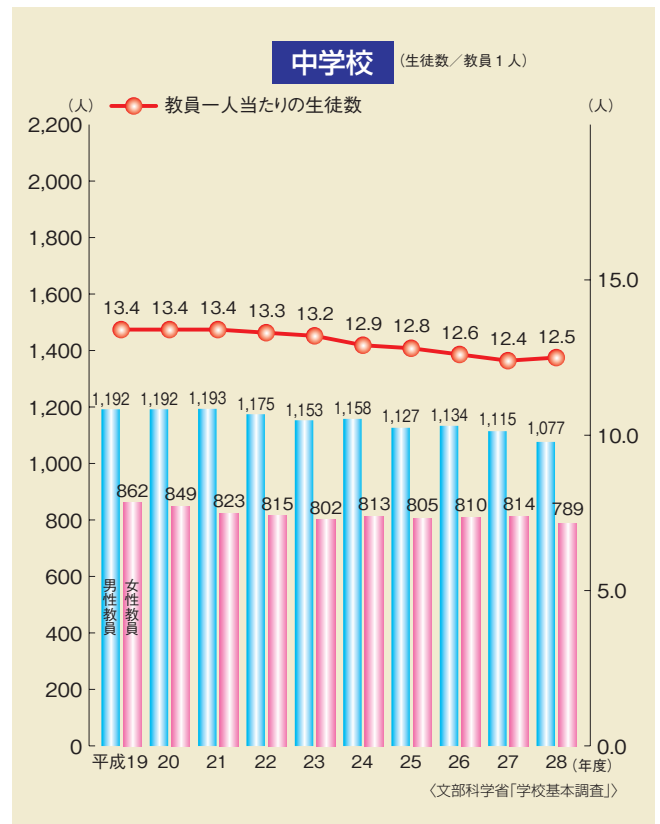
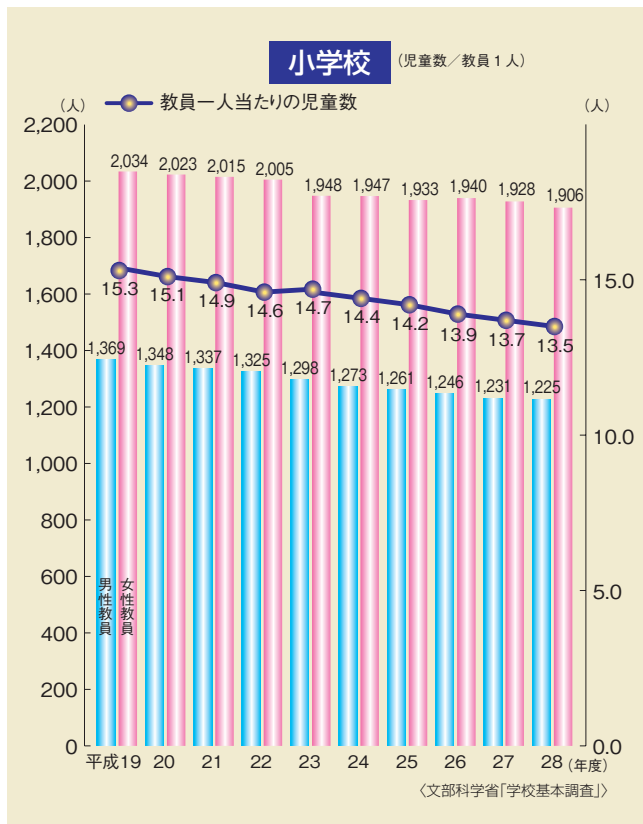
<総務省「社会生活基本調査」>

県内に住む10歳以上の男女の生活行動時間をみると、男性は仕事に費やす時間が、女性は家事に費やす時間が多くなっていますが、前回調査時(平成18年)と比べると男性の仕事に費やす時間は16分、女性の家事に費やす時間は8分短くなっています。学習・自己啓発・訓練の行動者率は年齢階級別で見ると平成23年調査の55歳~74歳で増加しています。ボランティア活動をした行動者率は31.2%となっており、特に「まちづくり」の行動者率が最も多く、平成18年調査と比べると「災害」の行動者率が最も多く増加しています。

## 児童生徒数の推移 (各年5月1日現在)

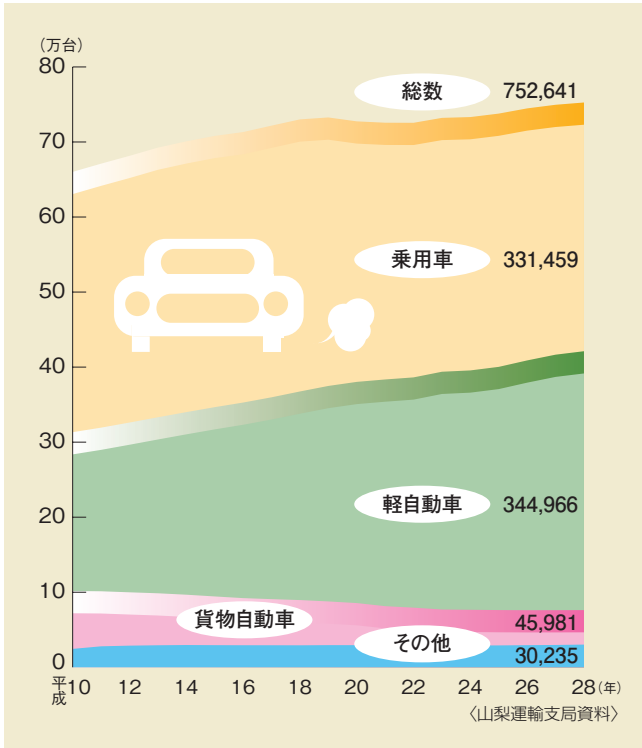


## 教員数と教員1人当たりの児童生徒数の推移

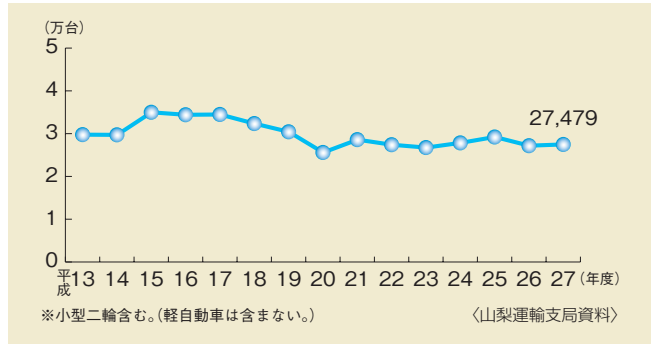


平成28年5月1日現在の児童・生徒数は、小学生42,379人、中学生23,371人、高校生25,501人となっており、児童・生徒数は、前年度に比べて減少しています。また、教員1人当たりの児童・生徒数は、小学校で13.5人、中学校で12.5人となっています。

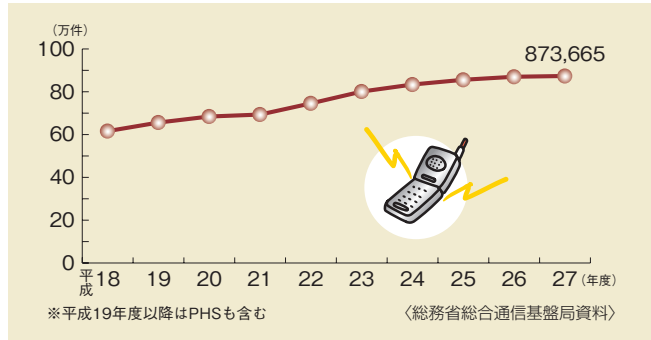
自動車保有台数の推移 (各年3月末日現在)



自動車新規登録台数の推移



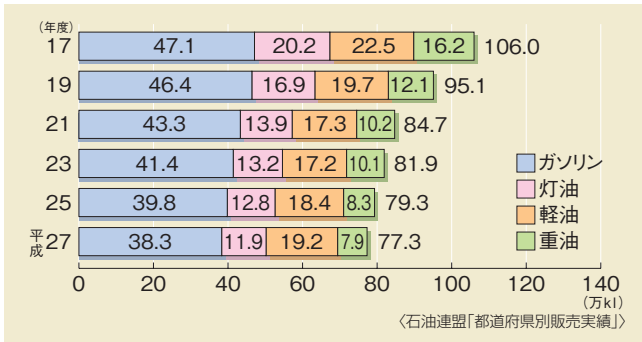
携帯電話契約数の推移



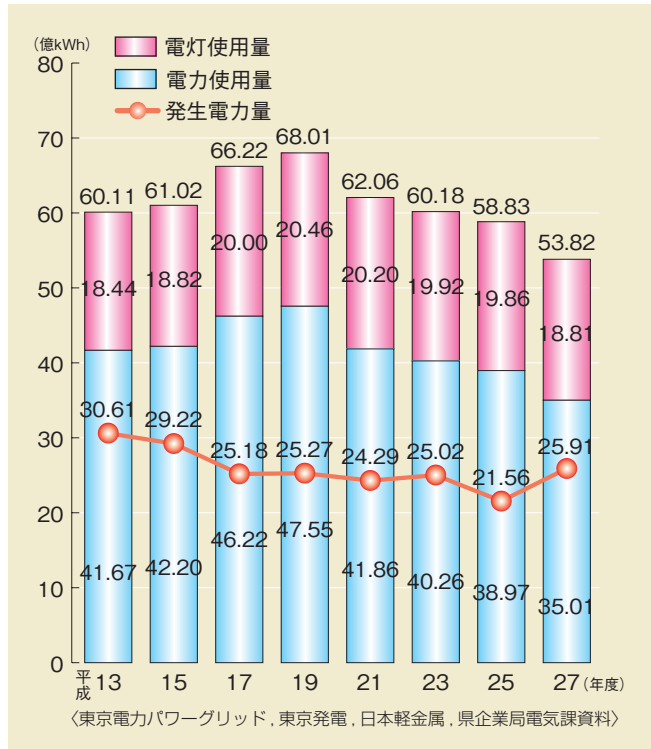
平成28年3月31日現在の本県の自動車保有台数は、752,641台で、前年に比べて3,046台増加しています。自動車新規登録台数は、27,479台で前年に比べて291台増加しています。

平成28年3月31日現在の携帯電話・PHS契約数は、873,665件で、前年に比べ3,523件増加しました。

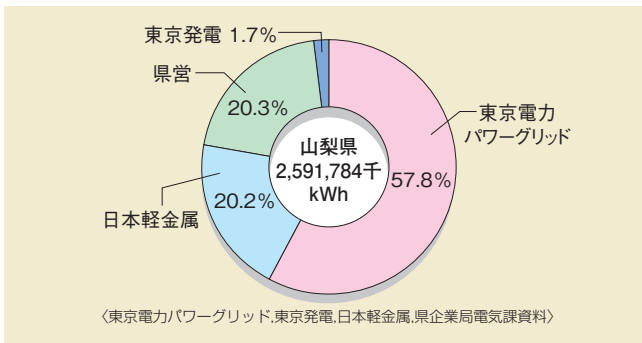
燃料油販売量の推移



電力発電量と使用量の推移



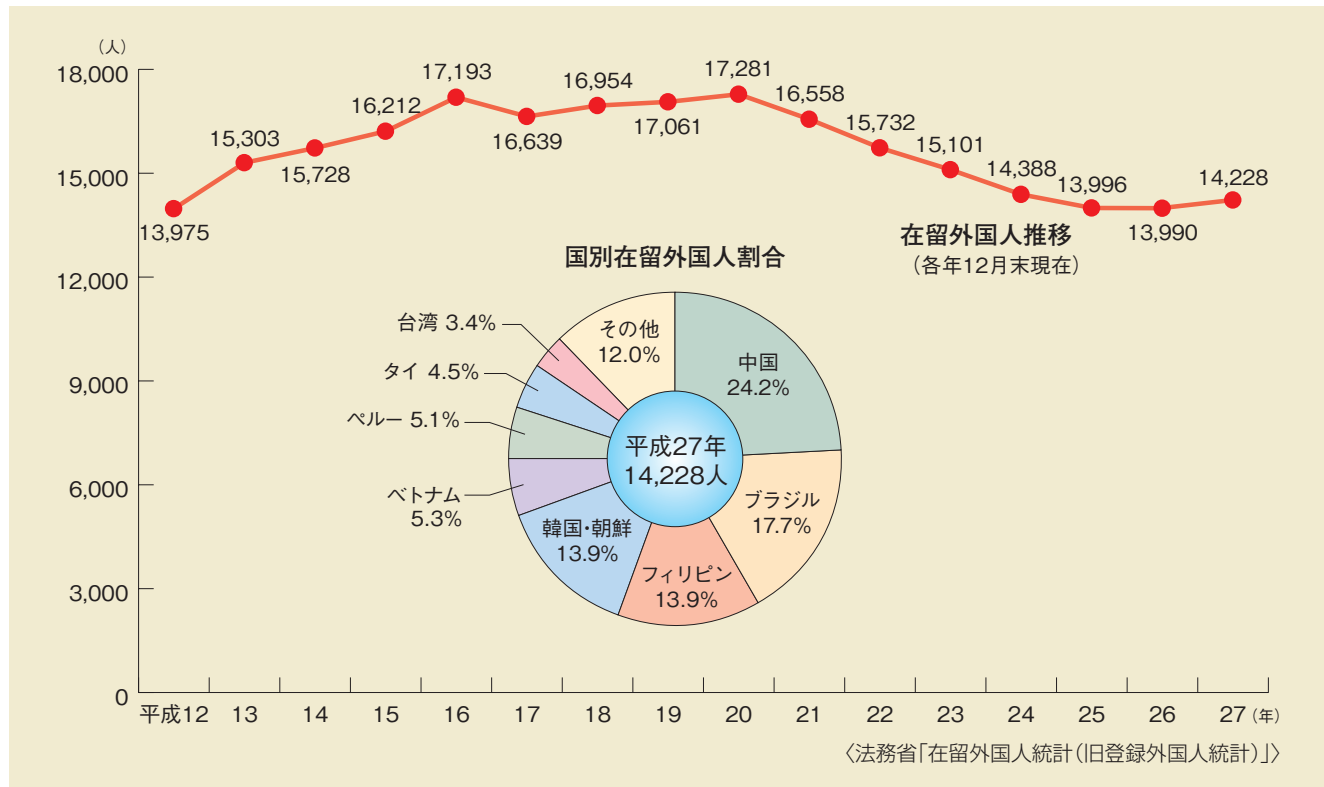
県内使用電力発電量の内訳 (平成27年度)



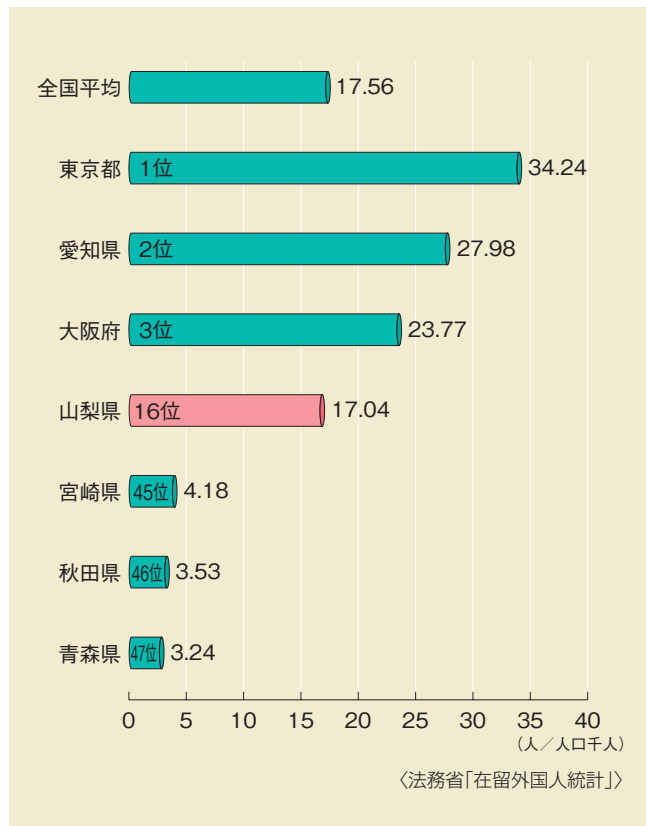
平成27年度の県内使用電力量は、53億8,277万2千kWhで、前年に比べ2億5,919万9千kWh減少しています。

県内発電量は、25億9,178万4千kWhで、前年度に比べ2億38万4千kWh(8.4%)増加しています。

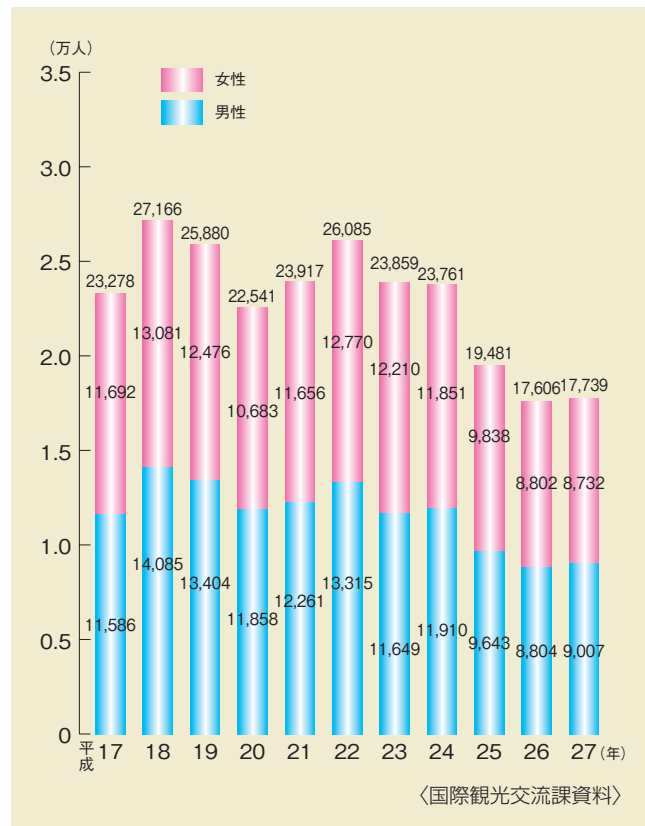
県内在留外国人(旧外国人登録者)の推移



全国の在留外国人(人口千人当たり) (平成27年12月31日)



旅券発行数の推移

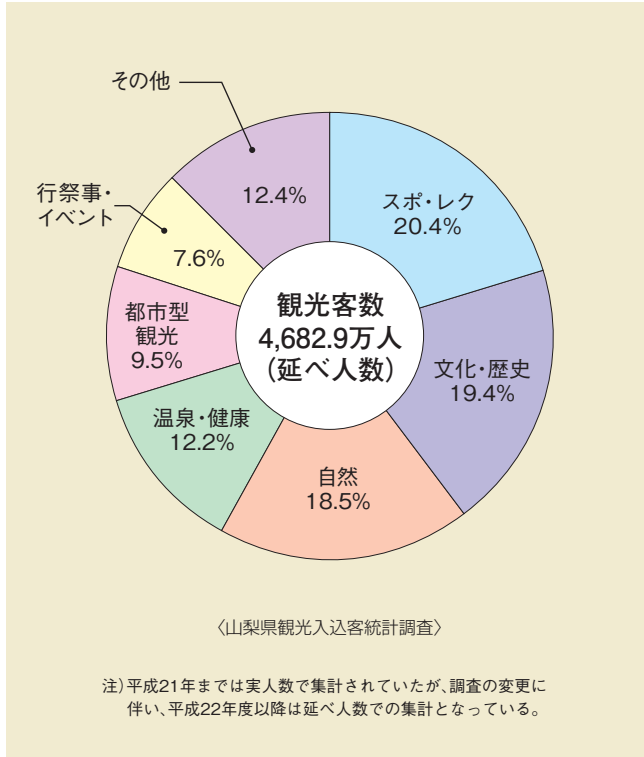


平成27年12月末現在の県内の在留外国人数は、14,228人で、国別に見ると、中国が最も多く24.2%、次いでブラジル17.7%、フィリピン13.9%の順となっています。

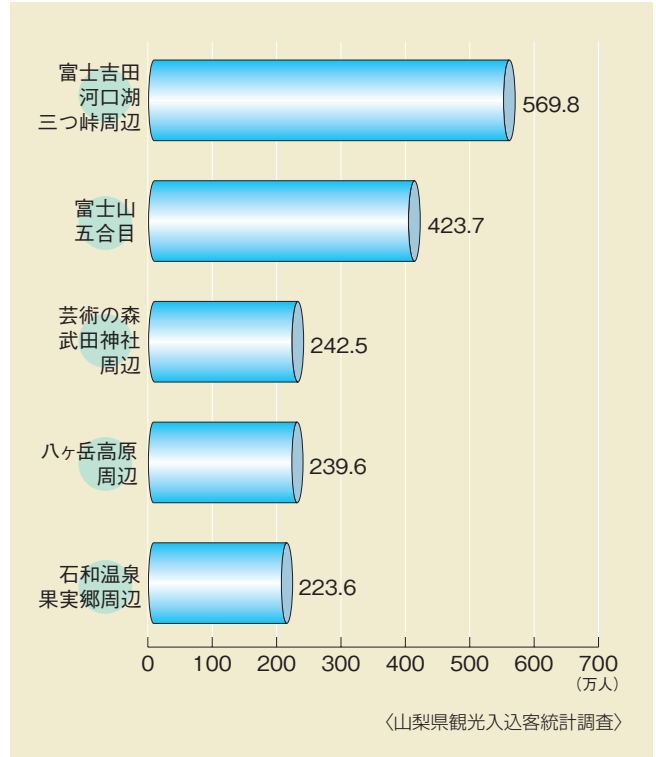
人口千人当たりの在留外国人は17.04人と全国平均の17.56人を下回るものの、全国第16位となっています。

平成27年における旅券発行(者)数は17,739人で、前年に比べ133人(0.76%)増加しています。

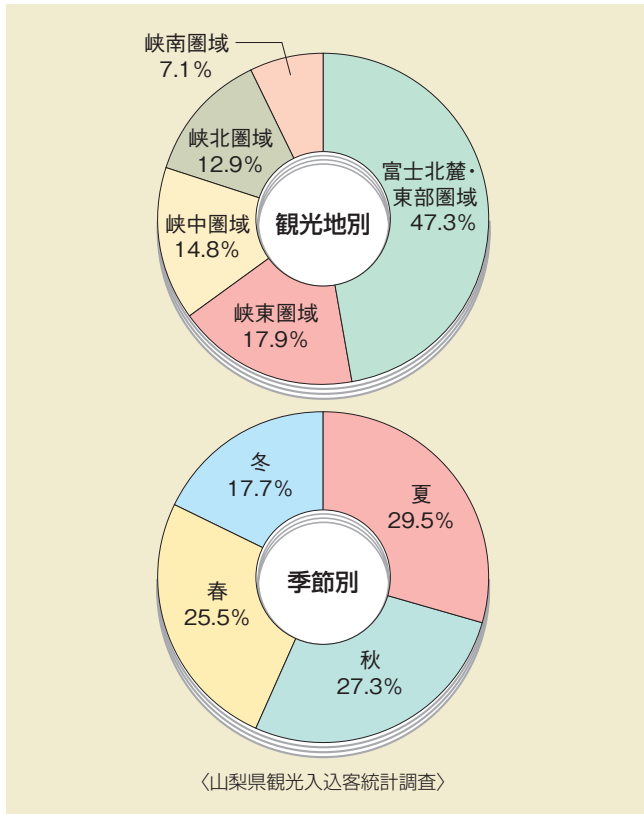
観光分類別観光客数の割合 (平成27年)



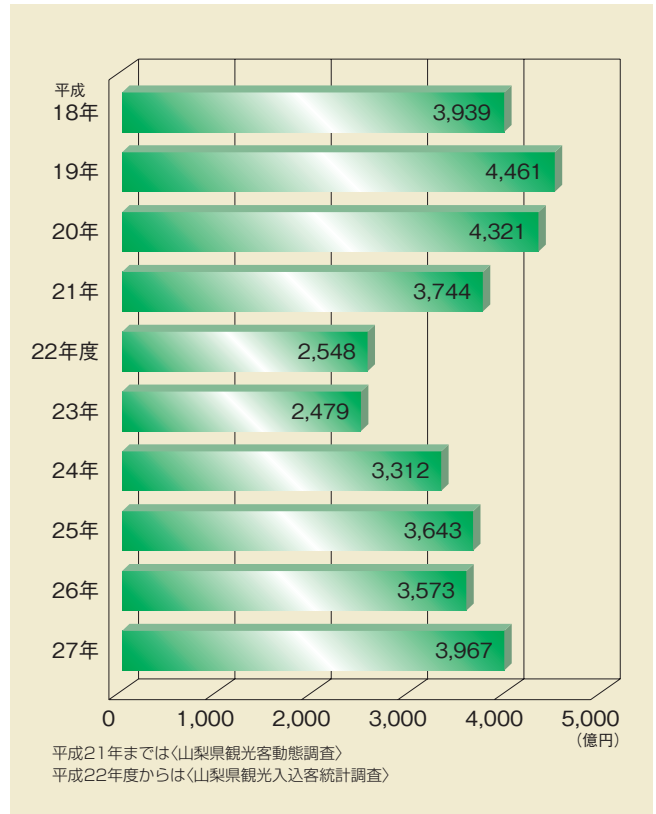
主な観光地別観光客数 (平成27年)



観光客数の割合 (観光地別、季節別) (平成27年)



観光消費総額

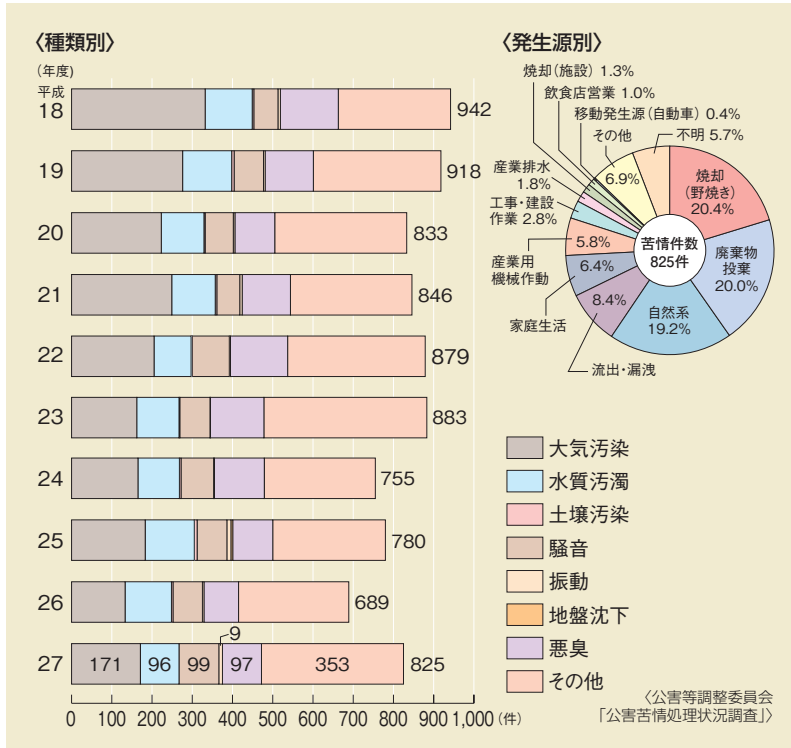


注)平成21年まで「山梨県観光客動態調査」、平成22年より全国共通基準に基づく「山梨県観光入込客統計調査」に変更。また、新基準の導入が平成22年4月の為、平成22年は年度集計(4月～3月)、平成23年以降は暦年集計(1月～12月)となる。

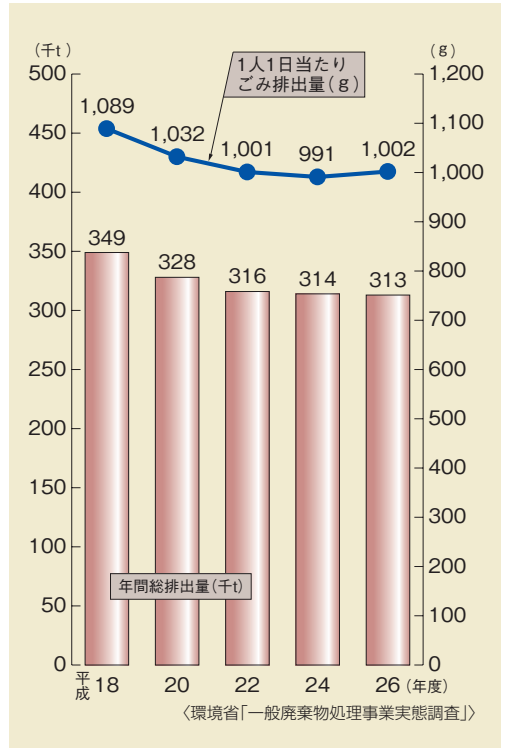
平成27年に本県を訪れた観光客数は、延べ人数4,682.9万人で本県のスポーツ・レクリエーションをもとめて訪れる人が一番多く、次に文化・歴史をもとめて訪れる人が多くなっています。  
本県で最も多く観光客が訪れるのは、季節では夏に、観光地では、富士山や富士五湖を中心とする富士北麓・東部圏域となっています。  
平成27年の観光消費総額は、3,967億円となっております。

# 居住環境

## 公害苦情件数の推移・公害苦情の具体的原因割合 (平成27年度)

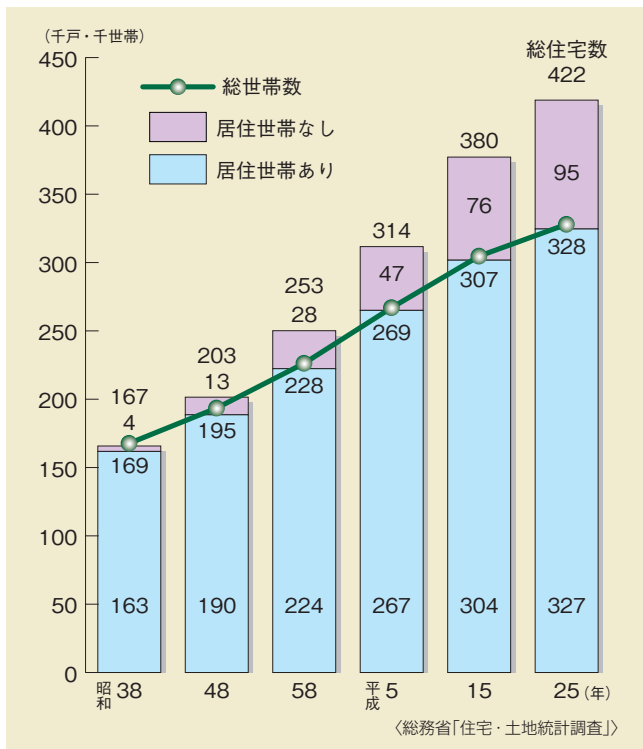


## 1人1日当たりごみ排出量と年間総排出量の推移

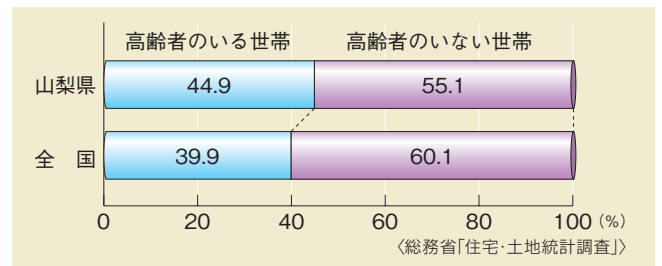


平成27年度の公害苦情件数は、825件で、前年度に比べ136件増加しています。公害苦情件数を公害の種類別に見ると、主な7つの公害に関する苦情が全体の57.2%を占めており、その中では、大気汚染、騒音、悪臭、水質汚濁の順になっています。

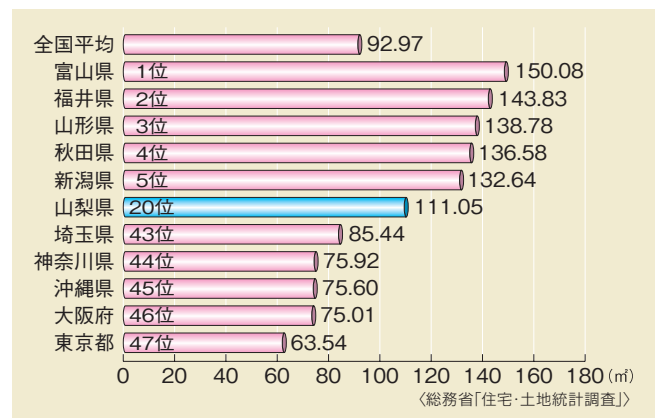
## 居住世帯の有無別住宅数・総世帯数の推移



## 高齢者同居の割合 (平成25年)



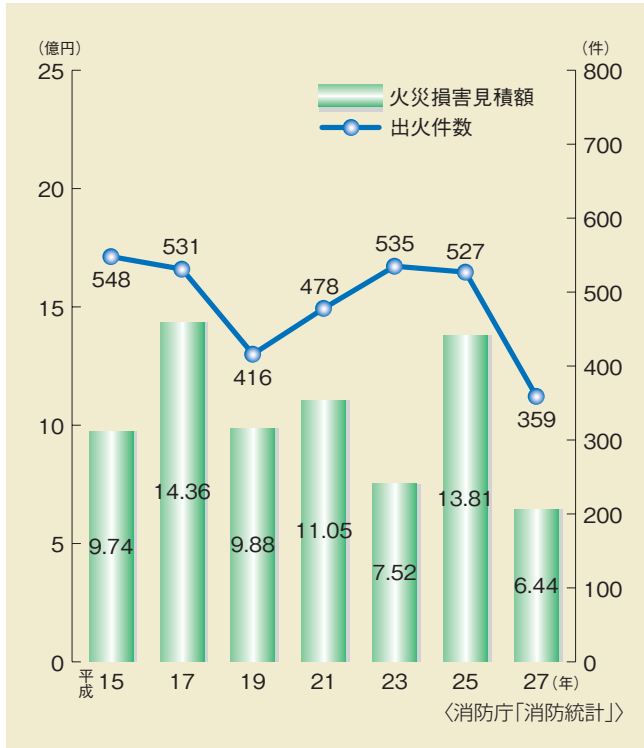
## 1住宅当たり延べ面積比較(専用住宅) (平成25年)



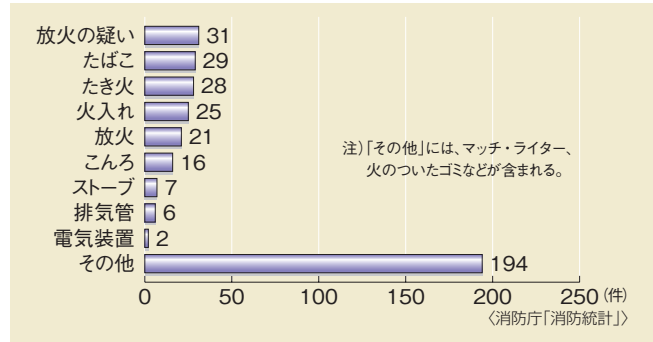
平成25年の居住世帯のある住宅数は32万6,700戸、居住世帯のない住宅数は9万5,400戸となっています。平成25年の本県の65歳以上の高齢者同居の割合をみると44.9%で全国に比べて5.0ポイント高くなっています。平成25年の本県の1住宅当たり延べ面積(専用住宅)は111.05㎡で、全国平均(92.97㎡)より18.08㎡多くなっており、全国順位第20位となっています。



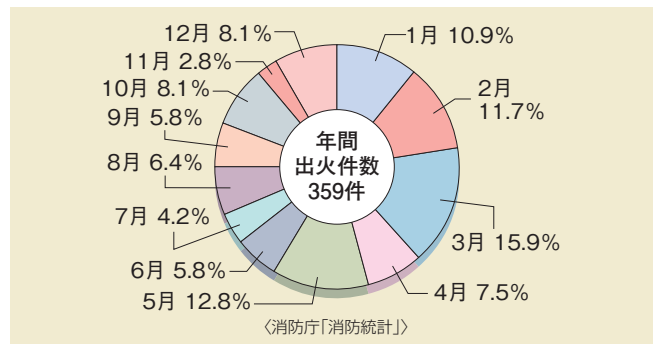
### 火災発生状況の推移



### 出火原因別・出火件数上位10位 (平成27年)



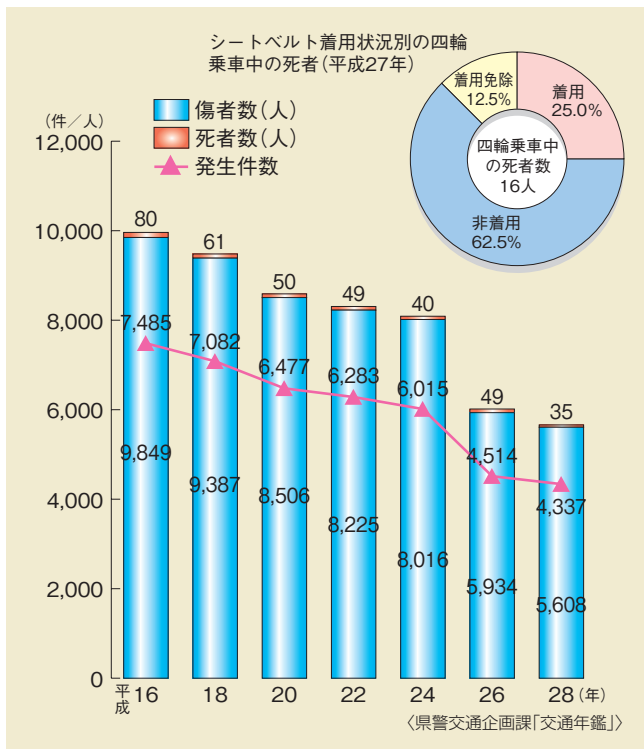
### 月別火災発生状況 (平成27年)



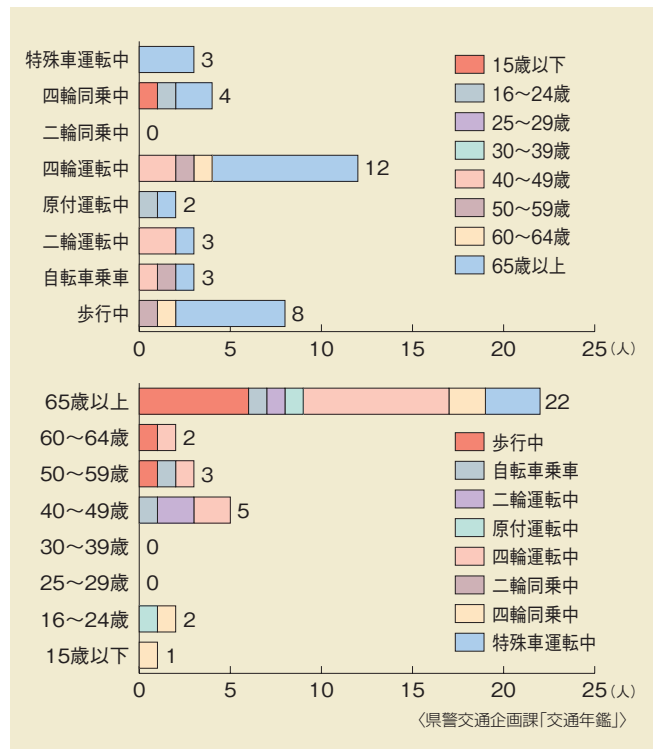
平成27年に発生した火災は、359件で前年と比べると77件減少しています。損害額は、6億4416万円で前年より5,970万5千円減少しています。

また、平成27年中の月別・出火原因別火災発生件数では、3月が最も多く、出火原因別件数では、放火の疑い、たばこ、たき火が多くなっています。

### 交通(人身)事故発生件数等の推移



### 年齢別状態別死者数 (平成28年)



平成28年の交通事故発生件数は4,337件で、前年と比べると284件減、死者数は35人で、前年と比べると2人増加しました。死者数を年齢別に見ると65歳以上が犠牲となった事故が最も多く22人となっています。

発生状況別に見ると、四輪運転中が最も多く12人となっています。

～利用にあたって～

・本表の順位は、表のデータを基に算出しており、調査主体者の公表している順位と異なる場合があります。また、項目によっては、表記上同数値であっても、単位未満のデータがある場合には異なる順位となっています。

なお、完全失業率の順位については数字の小さい方から数えており、それ以外は数字の大きい方から数えています。

・数字の単位未満は、四捨五入を原則としているため、合計値と内訳の計が一致しない場合があります。

・表中の記号の用法は、次のとおりです。  
「0.0」：単位未満、「△」：負数

・表の下欄には、資料出所、調査時点、算出方法を記載しています。

・資料の中で「平成〇〇年」とあるのは暦年(1月～12月)、「平成××年度」とあるのは会計年度(4月～翌年3月)を示します。

・人口割り、世帯割り等については、その年次(年度)の10月1日の人口または世帯を用いており、推計人口と標記のあるもの以外は平成27年10月1日の国勢調査結果を用いています。

・各指標個別の注意点については、欄外に各指標の番号を示し、記載しました。

指標からみるやまなし 自然と人口

県名	1 総面積(km <sup>2</sup> )		2 総世帯数(世帯)		3 可住地面積割合(総面積に占める割合)(%)		4 日照時間(年間)(時間)	
	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位
北海道	83,423.82	1	2,444,810	7	28.3	30	1,813.0	34
青森県	9,645.56	8	510,945	31	33.5	22	1,737.7	42
岩手県	15,275.01	2	493,049	32	24.2	40	1,871.6	28
宮城県	*7,282.22	16	944,720	14	43.1	14	2,102.8	7
秋田県	11,637.52	6	388,560	40	27.5	33	1,712.6	44
山形県	*9,323.15	9	393,396	37	30.6	28	1,744.2	39
福島県	13,783.74	3	737,598	21	30.7	27	1,883.7	26
茨城県	6,097.12	24	1,124,349	13	65.3	4	2,117.6	5
栃木県	6,408.09	20	763,097	19	46.5	12	2,021.9	14
群馬県	6,362.28	21	773,952	17	36.2	17	2,142.6	3
埼玉県	*3,797.75	39	2,971,659	5	67.8	3	2,168.2	2
千葉県	*5,157.64	28	2,609,132	6	68.5	2	2,049.3	12
東京都	*2,191.00	45	6,701,122	1	63.6	5	1,966.6	19
神奈川県	2,415.92	43	3,979,278	2	60.7	6	2,076.1	10
新潟県	*12,584.18	5	848,150	15	35.8	18	1,684.6	46
富山県	*4,247.61	33	391,171	39	43.6	13	1,715.5	43
石川県	4,186.09	35	453,368	35	33.2	23	1,793.3	35
福井県	4,190.49	34	279,687	45	25.6	36	1,684.6	46
山梨県	*4,465.27	32	330,976	41	21.3	44	2,205.1	1
長野県	*13,561.56	4	807,108	16	24.4	39	1,947.3	23
岐阜県	*10,621.29	7	753,212	20	20.7	45	2,115.1	6
静岡県	*7,777.43	13	1,429,600	10	35.4	20	2,134.1	4
愛知県	*5,172.90	27	3,063,833	4	57.7	7	2,100.3	8
三重県	*5,774.41	25	720,292	23	35.3	21	2,048.0	13
滋賀県	*4,017.38	38	537,550	29	32.3	25	1,858.7	30
京都府	4,612.19	31	1,152,902	12	25.5	37	1,778.8	36
大阪府	1,905.14	46	3,923,887	3	69.5	1	2,006.2	16
兵庫県	8,400.93	12	2,315,200	8	33.1	24	1,988.4	17
奈良県	3,690.94	40	530,221	30	23.1	43	1,738.7	41
和歌山県	4,724.71	30	392,332	38	23.2	42	1,964.8	21
鳥取県	3,507.13	41	216,894	47	26.0	35	1,696.2	45
島根県	6,708.24	19	265,008	46	19.2	46	1,740.1	40
岡山県	*7,114.47	17	772,977	18	31.3	26	2,011.7	15
広島県	8,479.47	11	1,211,425	11	27.0	34	1,963.4	22
山口県	6,112.34	23	598,834	25	28.0	31	1,827.5	31
徳島県	4,146.79	36	305,754	43	24.7	38	2,065.1	11
香川県	*1,876.73	47	398,551	36	53.4	10	1,968.1	18
愛媛県	5,676.19	26	591,972	26	29.3	29	1,888.3	25
高知県	7,103.93	18	319,011	42	16.3	47	2,098.4	9
福岡県	*4,986.40	29	2,201,037	9	55.8	8	1,872.0	27
佐賀県	2,440.68	42	302,109	44	54.7	9	1,888.7	24
長崎県	4,132.20	37	560,720	27	40.2	15	1,754.2	38
熊本県	*7,409.44	15	704,730	24	36.9	16	1,867.3	29
大分県	*6,340.74	22	486,535	33	27.5	32	1,821.7	32
宮崎県	*7,735.31	14	462,858	34	23.9	41	1,966.5	20
鹿児島県	*9,186.99	10	724,690	22	35.6	19	1,778.2	37
沖縄県	2,281.14	44	560,424	28	51.4	11	1,813.8	33
全国値	377,971.57		53,448,685		32.8		—	
資料出所	国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」		総務省「国勢調査」		総務省統計局刊行「統計でみる都道府県のすがた2016」		甲府地方気象台資料	
調査時点	平成28年10月1日		平成27年10月1日		平成26年度		平成27年	
調査周期	毎年		5年毎		毎年		毎年	
算出方法等	*国土地理院による便宜的な概算数値である参考値		—		—		—	

(注) ・2 総世帯数＝一般世帯数＋施設等の世帯数。  
「一般世帯」とは、住居と生計を共にする人の集まり又は一戸を構えて住む単身者等。  
「施設等の世帯」とは、施設・病院等の入所者、寮の学生、営舎・艦船内居住者等。









## 家計と住環境

36 コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)(店)		37 汚水処理人口 普及率(%)		38 自家用自動車保有台数 (人口千人当たり)(台)	
数 値	順位	数 値	順位	数 値	順位
54.0	1	95.0	9	455.6	11
43.7	20	77.1	41	400.9	21
40.6	28	79.0	35	420.7	17
48.4	7	89.8	17	432.4	16
45.1	12	85.4	25	415.0	19
39.4	35	90.8	15	441.8	14
42.9	22	81.1	33	492.0	4
47.6	9	82.6	30	543.3	1
46.0	11	84.4	28	534.0	2
48.6	6	78.5	38	527.7	3
38.6	37	90.6	16	358.4	35
42.1	25	86.6	20	376.0	30
51.6	3	99.7	1	233.1	47
40.2	29	97.9	4	302.2	43
40.0	31	85.9	22	420.6	18
48.8	4	96.1	8	483.3	5
48.1	8	93.3	11	459.8	10
44.6	14	94.2	10	462.4	8
53.9	2	80.7	34	471.7	7
44.2	16	97.4	6	460.2	9
44.3	15	91.0	14	476.9	6
47.4	10	78.7	37	435.1	15
48.7	5	89.1	18	452.0	12
44.1	17	82.6	31	451.2	13
39.5	34	98.5	3	380.8	28
40.2	29	97.6	5	294.7	45
42.8	23	97.3	7	267.8	46
35.7	44	98.7	2	325.1	41
32.8	46	87.7	19	338.3	39
36.7	41	60.6	46	347.3	37
37.0	39	92.7	12	374.3	31
35.1	45	77.8	39	365.6	34
39.2	36	84.4	27	398.5	22
40.8	27	86.6	21	354.9	36
39.6	33	85.6	23	387.5	26
45.1	12	57.3	47	404.3	20
44.1	17	74.3	44	396.7	23
42.7	24	76.3	42	341.3	38
37.9	38	74.8	43	333.3	40
43.3	21	91.1	13	368.5	33
43.9	19	81.1	32	381.8	27
35.9	42	78.8	36	295.3	44
39.9	32	85.3	26	380.2	29
41.5	26	73.6	45	389.2	25
37.0	39	83.8	29	390.7	24
28.2	47	77.7	40	371.6	32
35.8	43	85.5	24	319.4	42
43.6		89.9		370.9	
経済産業省「商業動 態統計調査」	環境省「農林水産省・国土交通 省」汚水処理人口普及状況	国土交通省「自動車交通 局」自動車保有車両数			
平成28年9月30日	平成27年度	平成28年3月31日			
毎月末日	毎年	毎年			
コンビニエンスストア数 ÷総人口	—	自家用自動車保有台数 ÷総人口			

(注) ・38 軽自動車・小型自動二輪車は除く。

## 福祉と医療

39 生活保護被保護人員 (人口千人当たり)(人)		40 社会福祉施設等数 (人口百万人当たり)(所)		41 65歳以上の単独世帯 (人口千人当たり)(人)	
数 値	順位	数 値	順位	数 値	順位
31.48	2	586.4	27	60.8	5
23.24	7	948.6	2	42.7	20
10.87	30	744.8	13	43.2	19
12.15	26	541.6	31	30.5	45
14.97	21	684.2	18	38.1	30
6.83	42	671.8	19	30.7	44
8.82	36	443.0	36	33.9	38
9.15	35	428.5	40	33.4	40
10.98	29	431.0	37	33.2	41
7.63	41	635.0	22	33.8	39
13.43	25	381.6	45	31.8	42
13.46	24	426.8	41	37.5	31
21.84	9	380.8	46	59.4	6
17.33	14	397.4	43	42.1	22
9.24	34	627.5	23	30.9	43
3.33	47	580.5	28	35.3	34
6.61	43	640.4	21	39.7	27
5.32	46	748.7	12	26.4	47
8.34	39	662.3	20	41.3	26
5.46	45	754.7	9	35.3	34
5.92	44	460.2	35	34.1	37
8.36	38	367.8	47	37.3	32
10.67	31	517.6	33	34.9	36
9.44	33	557.3	29	42.0	23
8.24	40	426.1	42	28.2	46
23.51	6	484.2	34	54.3	10
33.64	1	384.0	44	57.7	7
19.51	10	430.5	38	48.6	14
15.42	19	430.3	39	38.3	29
16.11	17	722.3	16	63.3	3
13.48	23	870.2	3	41.5	24
8.81	37	849.7	4	44.2	18
13.71	22	555.8	30	42.5	21
16.23	16	532.4	32	50.7	12
11.56	27	751.7	11	49.3	13
18.77	12	731.7	15	55.8	9
11.19	28	623.8	24	61.9	4
16.04	18	613.6	26	57.7	7
28.06	3	840.3	5	68.5	1
25.67	4	616.1	25	52.1	11
9.71	32	715.6	17	36.9	33
22.11	8	810.3	7	41.5	24
15.09	20	828.0	6	45.0	17
17.48	13	751.9	10	48.4	15
16.82	15	1095.9	1	45.5	16
19.44	11	766.9	8	67.3	2
25.34	5	735.2	14	38.9	28
17.03		520.9		45.0	
厚生労働省「生活保護 業務データシステム」	厚生労働省「社会福 祉施設等調査報告」	厚生労働省「国民生 活基礎調査」			
平成28年3月	平成27年10月1日	平成25年6月6日			
毎年	毎年	3年毎			
被保護人員÷ 総人口	社会福祉施設等数 ÷総人口	在宅ひとり暮らし高齢者数 ÷総人口(推計人口)			

(注) ・40 休止施設は含まない。

# 福祉と医療

県名	42 民生委員数(人口10万人当たり)(人)		43 病院病床数(人口10万人当たり)(床)		44 悪性新生物による死亡者数(日本人)(人口10万人当たり)(人)		45 平均寿命(男)(歳)		46 平均寿命(女)(歳)		47 国民健康保険被保険者数(人口千人当たり)(人)	
	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位	数値	順位
北海道	154.3	28	1,779.1	8	357.1	8	79.17	34	86.30	25	255.1	23
青森県	205.1	14	1,345.8	25	386.7	2	77.28	47	85.34	47	298.6	3
岩手県	243.2	8	1,367.3	24	346.0	11	78.53	45	85.86	43	251.5	24
宮城県	125.4	34	1,080.9	39	287.1	39	79.65	22	86.39	22	243.7	35
秋田県	254.1	5	1,486.7	19	409.5	1	78.22	46	85.93	39	250.0	25
山形県	253.1	6	1,316.4	28	358.7	7	79.97	9	86.28	27	237.4	38
福島県	179.3	20	1,335.9	26	331.9	16	78.84	44	86.05	38	264.0	20
茨城県	178.6	21	1,095.5	37	308.2	25	79.09	36	85.83	44	293.8	4
栃木県	154.4	27	1,088.9	38	285.6	40	79.06	38	85.66	46	279.9	8
群馬県	138.0	32	1,249.1	31	306.4	27	79.40	29	85.91	41	283.6	6
埼玉県	120.7	36	853.8	46	264.7	42	79.62	23	85.88	42	273.7	12
千葉県	97.2	41	943.3	44	271.9	41	79.88	13	86.20	34	277.5	10
東京都	75.7	45	948.3	43	258.9	46	79.82	14	86.39	22	267.2	15
神奈川県	42.9	47	810.5	47	261.0	43	80.25	5	86.63	15	249.9	26
新潟県	150.2	31	1,249.6	30	340.0	12	79.47	27	86.96	5	236.4	40
富山県	154.1	29	1,582.5	14	338.9	13	79.71	17	86.75	10	218.0	47
石川県	168.9	24	1,593.7	13	306.0	28	79.71	17	86.75	10	233.6	42
福井県	230.8	9	1,410.5	22	316.0	21	80.47	3	86.94	6	223.0	45
山梨県	299.5	2	1,303.3	29	308.3	24	79.54	25	86.65	13	282.2	7
長野県	207.5	13	1,149.0	35	300.8	32	80.88	1	87.18	1	255.2	22
岐阜県	175.8	23	1,024.6	42	305.0	30	79.92	11	86.26	29	265.9	17
静岡県	115.6	38	1,046.2	40	291.4	38	79.95	10	86.22	31	266.9	16
愛知県	76.3	44	905.8	45	260.5	44	79.71	17	86.22	31	244.0	34
三重県	222.7	11	1,128.3	36	299.5	34	79.68	21	86.25	30	244.6	33
滋賀県	181.3	19	1,026.2	41	260.2	45	80.58	2	86.69	12	225.3	44
京都府	106.7	40	1,377.3	23	298.9	35	80.21	6	86.65	13	245.8	32
大阪府	63.8	46	1,219.9	33	305.7	29	78.99	41	85.93	39	271.3	14
兵庫県	91.8	42	1,173.3	34	304.2	31	79.59	24	86.14	35	247.8	29
奈良県	161.3	26	1,244.1	32	299.6	33	80.14	7	86.60	17	263.4	21
和歌山県	201.1	15	1,417.2	21	356.1	9	79.07	37	85.69	45	306.9	2
鳥取県	289.4	3	1,518.2	17	360.2	5	79.01	40	86.08	36	241.1	36
島根県	323.5	1	1,551.8	15	368.0	4	79.51	26	87.07	2	219.3	46
岡山県	121.3	35	1,499.5	18	296.7	36	79.77	15	86.93	8	235.5	41
広島県	109.6	39	1,420.3	20	294.9	37	79.91	12	86.94	6	231.8	43
山口県	216.3	12	1,926.4	6	359.5	6	79.03	39	86.07	37	246.8	31
徳島県	261.1	4	1,964.7	4	333.4	15	79.44	28	86.21	33	237.1	39
香川県	135.5	33	1,546.5	16	314.4	22	79.73	16	86.34	24	240.4	37
愛媛県	189.3	16	1,620.4	12	336.9	14	79.13	35	86.54	19	265.7	18
高知県	229.4	10	2,522.4	1	371.0	3	78.91	42	86.47	21	272.9	13
福岡県	84.7	43	1,685.3	11	307.9	26	79.30	31	86.48	20	248.1	28
佐賀県	251.9	7	1,808.8	7	326.0	19	79.28	32	86.58	18	247.8	29
長崎県	187.9	17	1,931.4	5	352.2	10	78.88	43	86.30	25	279.2	9
熊本県	151.2	30	1,969.2	3	309.4	23	80.29	4	86.98	4	275.3	11
大分県	177.1	22	1,713.1	10	317.4	20	80.06	8	86.91	9	249.2	27
宮崎県	164.4	25	1,739.7	9	330.3	17	79.70	20	86.61	16	285.5	5
鹿児島県	187.1	18	2,069.6	2	329.7	18	79.21	33	86.28	27	264.9	19
沖縄県	119.3	37	1,318.5	27	221.3	47	79.40	29	87.02	3	331.4	1
全国値	182.0		1,232.1		298.0		79.59		86.35		259.9	
資料出所	厚生労働省「福祉行政報告例」		厚生労働省「医療施設調査」		厚生労働省「人口動態統計」		厚生労働省「都道府県別生命表」		厚生労働省「都道府県別生命表」		厚生労働省「国民健康保険事業年報」	
調査時点	平成27年3月31日		平成27年10月1日		平成27年		平成22年		平成22年		平成26年度(年度末)	
調査周期	毎年		毎年		毎年		5年毎		5年毎		毎年	
算出方法等	民生委員数 ÷ 総人口(推計人口)		一般病院病床数 ÷ 総人口		悪性新生物死亡者数 ÷ 日本人人口		完全生命表による全国値 男79.55 女86.30 ※都道府県別生命表による全国値と完全生命表による全国値は、算出方法の違いから異なった結果となっている。				国民健康保険被保険者数 ÷ 総人口(推計人口)	



## 災害と安全

48 火災出火件数(人口10万人当たり)(件)		49 交通事故発生件数(人口10万人当たり)(件)		50 交通事故死亡者数(人口10万人当たり)(人)		51 刑法犯認知件数(人口千人当たり)(件)	
数 値	順位	数 値	順位	数 値	順位	数 値	順位
35.5	14	206.7	44	3.3	32	6.6	25
45.9	1	294.6	39	3.1	37	4.2	43
37.4	11	200.1	45	6.3	3	3.8	45
33.4	18	369.5	28	2.8	42	7.6	19
36.5	13	210.2	43	3.7	28	3.1	47
33.1	21	573.5	8	5.1	10	4.5	42
34.5	16	360.2	32	4.0	23	6.7	24
39.7	8	398.1	21	4.8	13	10.0	7
39.4	9	320.5	36	5.0	11	7.4	20
44.6	2	771.8	6	3.4	30	8.2	12
27.4	38	406.4	20	2.4	44	10.1	6
32.2	25	299.7	38	2.9	40	9.9	8
33.1	21	253.6	41	1.2	47	11.0	2
22.6	44	310.2	37	2.0	46	6.8	23
25.1	42	232.0	42	4.2	20	6.5	29
17.6	47	370.0	27	6.6	1	5.7	36
20.8	45	328.5	34	4.0	23	6.6	25
23.5	43	278.1	40	6.0	4	4.9	39
43.0	4	553.5	9	4.0	23	7.7	17
39.1	10	422.4	16	3.3	32	5.5	37
33.2	20	364.2	30	5.2	8	8.9	10
29.2	34	878.1	2	4.1	21	6.3	31
27.0	40	592.9	7	2.8	42	10.2	5
33.3	19	394.8	22	4.8	13	8.4	11
28.7	36	416.1	18	5.2	8	8.0	14
20.3	46	357.3	33	3.3	32	9.2	9
25.3	41	459.4	14	2.2	45	15.0	1
29.1	35	515.7	11	3.1	37	10.7	3
34.2	17	372.2	25	3.4	30	7.4	20
30.5	29	363.0	31	5.0	11	7.8	15
35.4	15	183.6	47	6.6	1	5.9	34
42.2	5	199.9	46	3.9	26	4.8	40
31.2	26	553.1	10	4.5	18	7.7	17
30.2	31	392.1	23	3.3	32	6.6	25
30.0	32	407.7	19	4.6	17	5.5	37
29.8	33	511.6	12	3.6	29	6.0	32
33.1	21	801.3	4	5.3	7	7.4	20
30.5	29	367.2	29	5.6	6	8.2	12
40.8	6	328.3	35	4.1	21	7.8	15
27.3	39	778.9	5	3.0	39	10.7	3
31.1	27	1027.9	1	5.8	5	6.5	29
28.6	37	444.5	15	3.3	32	3.6	46
30.6	28	371.8	26	4.4	19	5.8	35
32.5	24	421.6	17	3.9	26	4.2	43
43.6	3	856.4	3	4.7	15	6.0	32
40.7	7	487.4	13	4.7	15	4.7	41
37.1	12	392.1	23	2.9	40	6.6	25
30.8		422.4		3.2		8.6	
消防庁 「消防統計」	県警交通企画課 「交通年鑑」	県警交通企画課 「交通年鑑」	警察庁 「犯罪統計」				
平成27年	平成27年	平成27年	平成27年				
毎年	毎年	毎年	毎年				
火災出火件数÷ 総人口	交通事故発生件数 ÷総人口	交通事故死亡者数 ÷総人口	刑法犯認知件数 ÷総人口				

## 財政

52 財政力指数(県財政)		53 経常収支比率(県財政)(%)	
数 値	順位	数 値	順位
0.42	27	96.3	9
0.33	36	95.7	15
0.34	35	97.4	4
0.60	13	96.3	9
0.30	44	92.2	39
0.34	34	94.7	22
0.51	19	95.9	13
0.63	8	92.7	34
0.62	9	95.1	17
0.60	12	95.8	14
0.77	5	94.9	20
0.78	4	96.3	9
1.00	1	81.5	47
0.92	3	97.1	6
0.44	25	92.7	34
0.45	24	95.3	16
0.47	22	94.1	27
0.38	32	93.0	33
0.38	31	92.3	37
0.48	21	92.7	34
0.52	18	92.2	39
0.71	7	94.9	20
0.92	2	98.8	2
0.58	15	97.9	3
0.54	17	95.1	17
0.57	16	95.0	19
0.75	6	99.8	1
0.62	10	96.1	12
0.41	28	92.1	42
0.32	41	92.3	37
0.25	45	90.2	44
0.24	47	85.8	46
0.50	20	93.2	32
0.59	14	94.4	24
0.43	26	94.1	27
0.32	40	94.3	26
0.46	23	94.4	24
0.41	29	89.0	45
0.24	46	93.8	29
0.62	11	96.6	8
0.33	37	92.2	39
0.32	42	97.4	4
0.39	30	94.5	23
0.36	33	93.6	30
0.32	39	91.3	43
0.32	38	96.8	7
0.32	43	93.5	31
0.49		94.1	
総務省「地方財 政状況調査」	総務省「地方財 政状況調査」		
平成27年度	平成27年度		
毎年	毎年		
基準財政収入額÷基準財政 需要額(過去3年の平均)	経常経費充当一般 財源÷経常一般財源		

## 市町村別

市町村名	54 総人口 (人)	55 人口密度 (可住地面積1km <sup>2</sup> 当たり)(人)	56 人口性比 (女性100人に対す る男性の数)(人)	57 15歳未満 人口割合(0~ 14歳)(%)	58 15~ 64歳人口 割合(%)	59 65歳 以上人口 割合(%)	60 平均年齢 (歳)	61 1世帯当 たり人員(総 世帯)(人)	62 65歳以 上単独世帯 の割合(%)	63 市町村内総生産 (名目)(千円)
甲府市	192,325	2,536	95.6	12.2	59.7	28.1	47.2	2.27	12.70	859,025,523
富士吉田市	48,639	2,716	95.2	12.4	60.5	27.1	47.1	2.71	9.62	171,912,158
都留市	31,593	1,294	92.9	11.5	62.9	25.5	45.4	2.38	7.96	103,491,500
山梨市	34,663	669	92.0	12.2	56.6	31.3	49.3	2.71	12.74	94,597,822
大月市	24,902	699	94.6	8.8	56.2	35.0	52.1	2.59	12.05	75,787,882
韮崎市	30,449	612	99.1	12.5	60.1	27.4	47.2	2.63	11.22	179,735,663
南アルプス市	70,512	1,006	96.3	14.4	60.5	25.1	45.6	2.82	8.44	216,426,608
北杜市	44,841	320	94.8	10.2	53.2	36.5	52.4	2.45	15.26	169,529,503
甲斐市	74,803	1,830	97.0	14.3	62.1	23.6	44.4	2.52	9.37	170,987,883
笛吹市	69,300	829	93.8	12.8	58.6	28.6	47.5	2.65	10.82	208,782,230
上野原市	24,261	825	99.7	9.4	58.9	31.6	50.0	2.57	10.73	74,837,105
甲州市	31,324	611	92.3	11.8	54.7	33.5	50.5	2.78	12.84	89,457,242
中央市	31,045	1,173	97.9	13.7	63.6	22.8	44.7	2.43	8.94	126,772,002
市川三郷町	15,397	597	93.4	10.7	53.7	35.6	52.0	2.66	14.87	41,506,190
早川町	1,069	69	103.2	6.9	45.3	47.8	58.2	1.86	29.60	6,363,646
身延町	12,256	220	95.3	6.9	50.1	43.0	56.8	2.43	19.42	38,914,812
南部町	7,874	327	95.0	9.2	52.4	38.4	54.3	2.68	15.92	25,785,700
富士川町	15,062	771	93.3	11.5	56.4	32.2	49.9	2.70	13.89	39,752,570
昭和町	19,693	2,083	102.1	16.0	63.9	20.1	42.5	2.37	8.15	165,639,312
道志村	1,704	358	100.9	10.3	56.7	33.0	51.6	2.95	10.32	5,605,318
西桂町	4,293	1,387	95.2	12.7	61.3	26.0	46.9	2.94	8.06	9,681,374
忍野村	9,102	760	120.8	16.4	66.1	17.5	41.5	2.96	3.84	110,892,065
山中湖村	5,167	372	96.6	12.3	58.4	29.3	48.8	2.81	9.39	21,843,979
鳴沢村	2,947	245	94.3	12.8	58.0	29.2	48.4	2.82	8.12	13,749,552
富士河口湖町	25,374	714	95.2	13.9	61.9	24.1	45.4	2.63	8.37	97,962,633
小菅村	725	204	95.4	8.5	46.3	45.2	56.7	2.15	22.92	2,209,832
丹波山村	564	229	106.6	5.2	48.0	46.9	60.1	1.91	23.13	2,008,896
県数値	829,884	882	95.8	12.4	59.2	28.4	47.6	2.52	11.31	3,123,259,000
資料出所	県統計調査課 「山梨県常住 人口調査」	総務省統計局刊行 「統計である市町村 のすがた2016」	県統計調査課 「山梨県常住 人口調査」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	総務省 「国勢調査」	県統計調査課 「市町村民経済 計算報告」
調査時点	平成28年 10月1日	平成26年度	平成28年 10月1日	平成27年 10月1日	平成27年 10月1日	平成27年 10月1日	平成27年 10月1日	平成27年 10月1日	平成27年 10月1日	平成22年度
調査周期	毎月	毎年	毎月	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎	5年毎
算出方法	—	総人口 (推計人口) ÷可住地面積	男性数÷ 女性数	15歳未満 人口 ÷総人口	15~64歳 人口 ÷総人口	65歳以上 人口 ÷総人口	—	総人口÷ 総世帯数	65歳以上単 独世帯数÷ 一般世帯数	—

64 製造品出荷額等 (従業者4人以上事業所) (従業者1人当たり)(万円)	65 年間商品販売額 (万円)	66 教員1人当 たり小学校児童 数(人)	67 自家用自動 車保有台数(1世 帯当たり)(台)	68 生活保護被 護人員(人口千 人当たり)(人)	69 火災出火件 数(人口千人当 たり)(件)	70 交通事故発生 件数(人口千人当 たり)(件)	71 刑法犯認知 件数(人口千人 当たり)(件)	72 財政力 指数 (市町村財政)	73 市町村民税 (人口1人当たり) (円)
2,740	63,128,084	16.48	1.06	14.68	0.3	8.3	10.7	0.76	74,773
2,432	8,578,315	14.66	1.28	5.41	0.3	3.7	5.2	0.65	62,503
1,764	4,041,080	12.88	1.03	8.22	0.4	3.3	6.9	0.49	53,649
2,239	3,079,894	13.56	1.14	7.37	0.4	3.5	5.2	0.42	50,962
2,200	1,543,492	9.23	1.12	7.55	0.5	3.3	5.6	0.67	55,484
2,969	3,994,332	14.07	1.30	4.69	0.6	4.6	6.5	0.64	59,700
2,831	8,569,186	14.46	1.35	5.69	0.5	4.1	5.7	0.57	55,976
3,921	5,066,700	12.10	1.26	5.10	0.9	2.5	4.1	0.44	60,575
1,673	9,881,597	16.28	1.13	8.15	0.4	5.6	8.3	0.67	59,303
2,305	11,263,673	13.69	1.21	9.10	0.4	4.9	10.1	0.56	52,504
2,315	4,551,028	11.80	0.99	4.64	0.4	4.4	4.8	0.49	62,172
1,979	4,107,941	9.38	1.27	10.01	0.7	3.4	6.0	0.48	49,242
2,513	14,156,047	13.29	1.19	6.33	0.4	5.4	7.6	0.71	68,278
1,950	1,204,210	10.53	1.18	4.40	0.2	1.8	5.3	0.35	49,512
—	29,750	2.20	1.15	7.49	0.9	0.9	1.9	0.17	48,124
2,085	1,189,874	5.43	1.23	3.00	1.4	4.2	6.0	0.28	48,207
2,701	709,618	7.24	1.37	1.98	0.2	3.2	3.0	0.27	46,811
1,643	1,196,330	13.41	1.23	5.49	0.1	3.3	4.1	0.37	50,264
3,933	9,484,589	16.30	1.34	5.23	0.2	11.0	17.1	1.13	110,297
889	42,174	6.00	2.04	0.00	0.6	10.0	6.3	0.17	56,561
1,417	463,279	12.71	1.30	5.53	0.5	2.3	6.0	0.30	45,271
8,693	487,768	17.78	1.76	1.45	0.2	0.8	3.3	1.36	403,420
2,248	356,773	11.74	2.22	2.69	0.2	9.5	9.8	1.55	595,947
2,581	191,593	11.46	1.93	3.08	0.7	7.1	4.8	0.63	67,827
3,438	3,841,299	11.29	1.33	4.78	0.4	3.9	6.2	0.69	68,440
×	24,980	3.50	1.08	13.77	1.4	2.8	5.5	0.09	43,494
×	17,196	2.00	0.86	7.10	0.0	7.1	8.9	0.06	39,425
3,043	161,200,802	13.54	1.19	8.35	0.4	5.2	7.7	0.55	69,441
経済産業省 「工業統計 調査」	経済産業省 「商業統計調査」	文部科学省 「学校基本 調査」	国土交通省自動 車交通局監修「自 動車保有車両数」	厚生労働省「生活 保護業務データ システム」	消防庁 「消防統計」	県警 交通企画課 「交通年鑑」	警察庁 「犯罪統計」	総務省 「地方財政 状況調査」	市町村課 資料
平成26年 12月31日	平成26年7月1日	平成28年 5月1日	平成28年 3月31日	平成28年 3月	平成27年	平成28年	平成27年	平成27年度	平成27年度
毎年	「経済センサスー活動 調査」の2年後	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年	毎年
—は該当数値無 し。×は秘匿。	—	小学校児童数 ÷教員数	自家用自動車 数÷総世帯数	被保護人員÷ 総人口	火災出火件数 ÷総人口	事故発生件数 ÷総人口 (推計人口)	刑法犯認知件 数÷総人口	基準財政収入額÷ 基準財政需要額 (過去3年の平均)	市町村民税(個人分 +法人分)調定額 ÷総人口

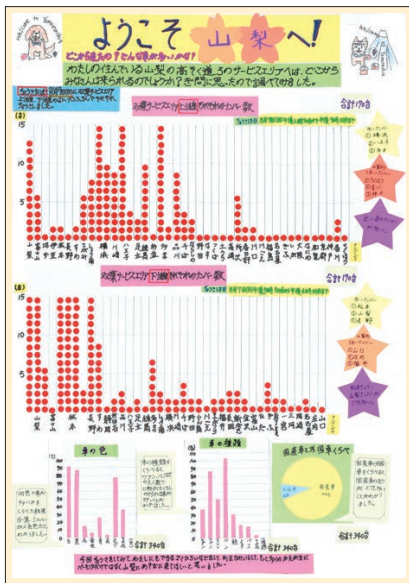
(注) ・67 軽自動車・小型自動二輪は除く。不明車両数(67両)は含まない。  
・72 県数値は、27市町村の単純平均。

# 山梨県統計グラフコンクール 入賞作品集

身近なこと、話題になっていること、気になったこと・・・  
今年度も、たくさんのすばらしい作品が集まりました。

## 第 1 部 (小学校 1・2 年生)

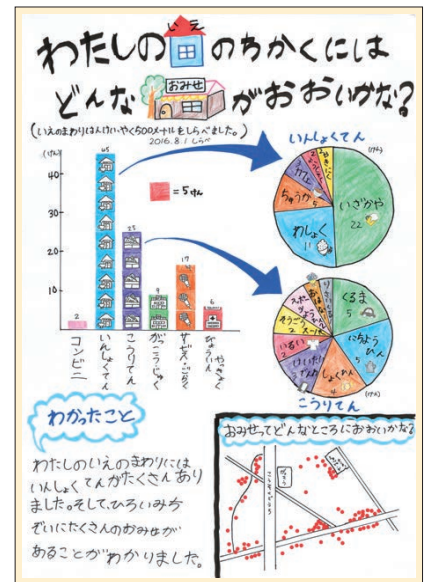
**知事賞** 山梨学院小学校2年 片桐 帆乃美さん



地道に調べた事を棒グラフ、円グラフを用いて  
きれいに構成して表現していますね。

**教育長賞**

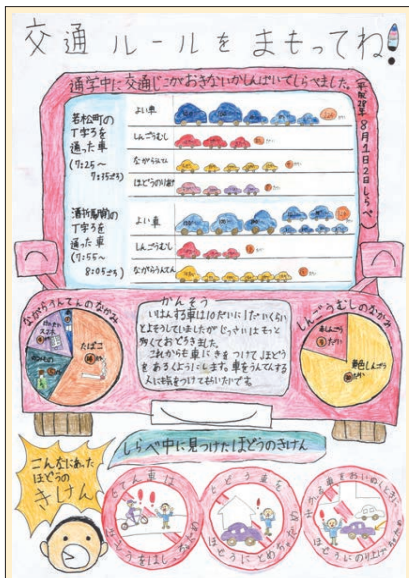
昭和町立西条小学校1年  
石原 結心さん



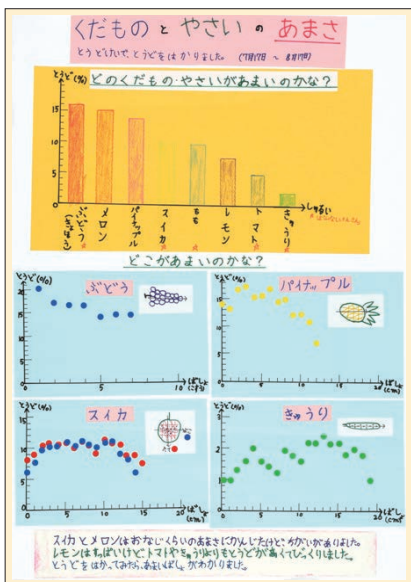
身近な場所にある店舗につ  
いて、地図、棒グラフ、円グラ  
フを使いくわしくまとめて  
いますね。

**教育長賞**

山梨学院小学校2年 保坂 俊さん

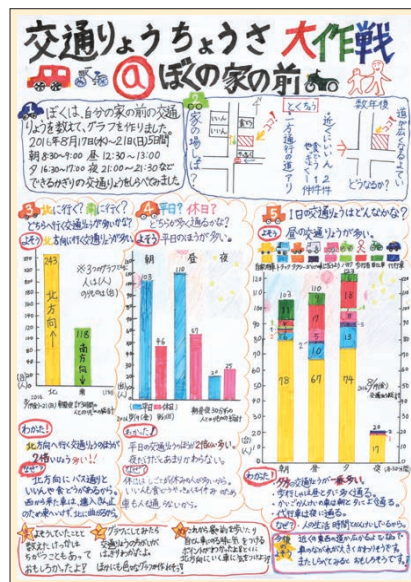


グラフのまとめ方に工夫があります。円グラフ  
を2種類使い啓発的な視点からまとめてあり、  
おもしろいですね。



果物と野菜を比較して、実際に糖度計で図ったところがおもしろいですね。統計として意味深いです。

結果を予想するという発想がおもしろいですね。またわかった事と比較して理由を考察している点がすばらしいです。



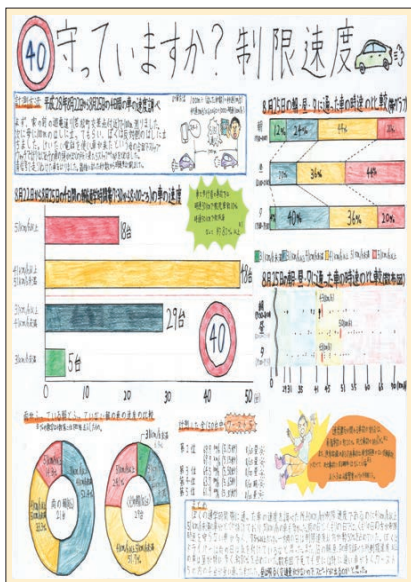
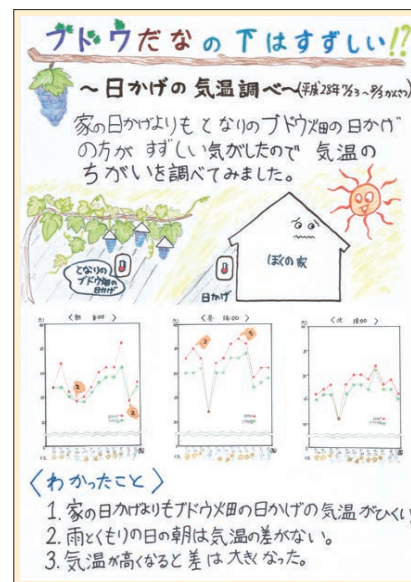
## 第2部 (小学校3・4年生)



材料がざんしんで、棒グラフ、山の形をしたグラフ、ぶどうの絵などを使うなど、ビジュアル的におもしろくまとめていますね。考察もしっかり書けています。

### 教育長賞

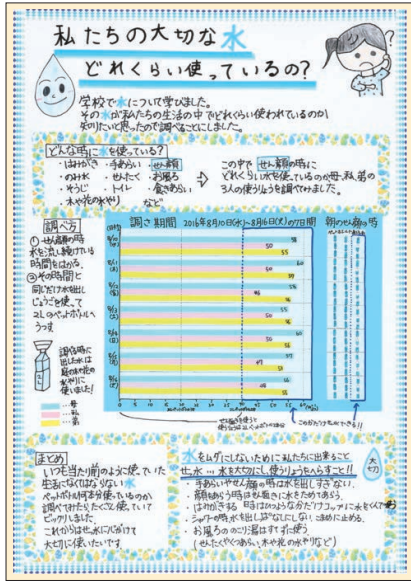
身近なものであるぶどう畑で日頃から感じていることを調べているところが良いですね。グラフでは、注目点にするしがあり、わかりやすいです。



ざんしんで多角的な視点から地道に調べ、グラフも数種類使い、努力が感じられます。大人への啓発的な要素が含まれていますね。

# 入選

山梨学院小学校3年  
白戸 梨央奈さん



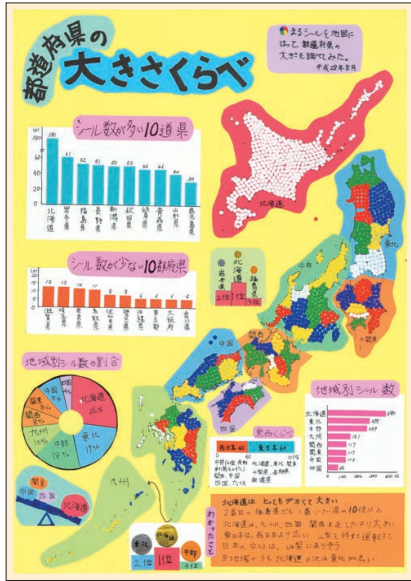
視覚的にインパクトがありますね。地道な作業を通して面積の大きさを実感として理解できる構成になっています。

日常使っている水を詳細に分析して節水に結びつけている点が良いですね。水の量をペットボトルでわかりやすく説明しています。

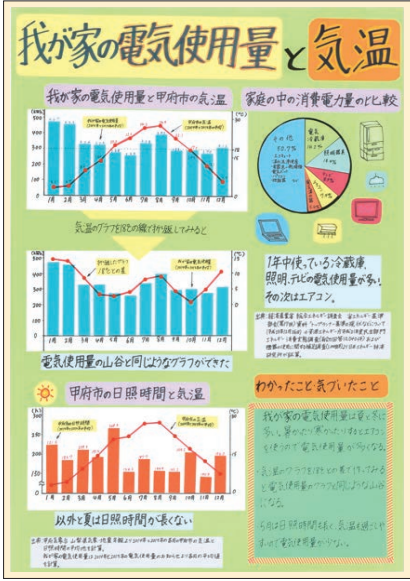


# 入選

山梨学院小学校3年  
末木 琉偉さん



## 第3部 (小学校5・6年生)



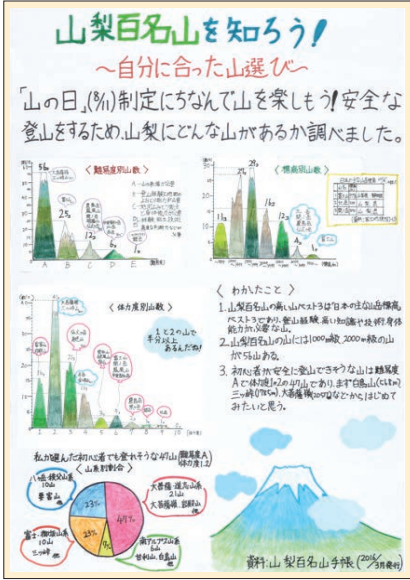
知事賞 山梨学院小学校5年 末木 優衣さん

グラフがきれいで見やすいです。18度で折り返して考察するというアイデアが素晴らしいですね。

山梨県の山々を高い順に視覚化したグラフを用い、登山を難易度別に表にして楽しい構成となっています。

# 入選

山梨学院小学校5年 河野 奈緒さん



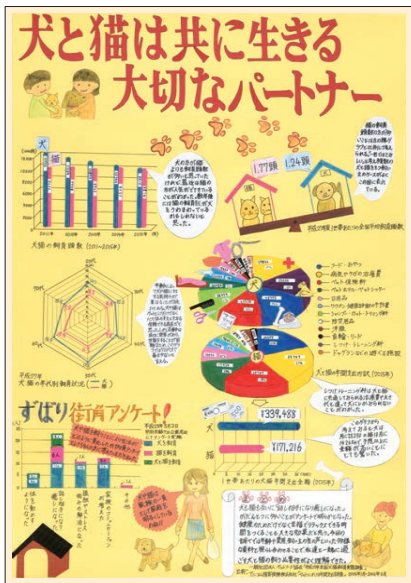
# 入選

学校法人駿台甲府学園  
駿台甲府小学校6年  
平田 啓人さん

身近な材料を選んだ点が良いですね。それぞれの栄養素や肥満の状況などを様々なグラフを用いて表現しています。

# 第4部 (中学生)

**知事賞** 山梨大学教育学部附属中学校1年 上田 歩実さん



テーマと内容から、犬と猫を大切にしている気持ちが伝わってきます。実際にアンケートをとり、調べたことを様々なタイプのグラフを使い見やすく効果的にまとめていますね。

6つの視点でまとめていますが、わかりやすくコンパクトにグラフを用い、また、提言もありインパクトのある作品ですね。

**教育長賞**

山梨学院中学校1年 秋山 星遥さん



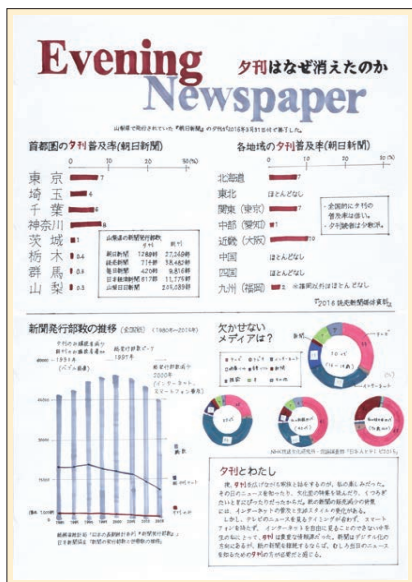
**教育長賞**

山梨学院中学校2年 岩田 未衣菜さん

中学生にとっての夕刊との関わり合いについて、全国的な割合と発行部数の推移をグラフ化することで、欠かせないメディアである事を訴え、説得力のある作品となっています。

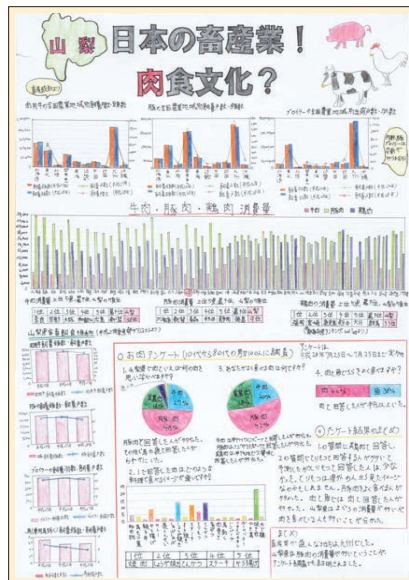
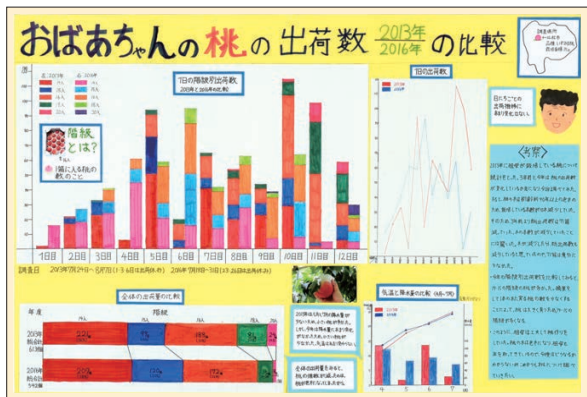
**入選**

山梨大学教育学部附属中学校1年 清水 琳斗さん



たくさんの複雑なデータを丁寧に見やすくまとめています。大規模なアンケートをして結論に結びつけている点が素晴らしいですね。

**入選** 山梨学院中学校1年 相川 莉穂さん



棒グラフを使い、3年前との比較を行うなど内容をわかりやすくまとめています。また、色合いが見やすくビジュアル面が素晴らしいですね。

# パソコン統計グラフの部 (小学生以上)

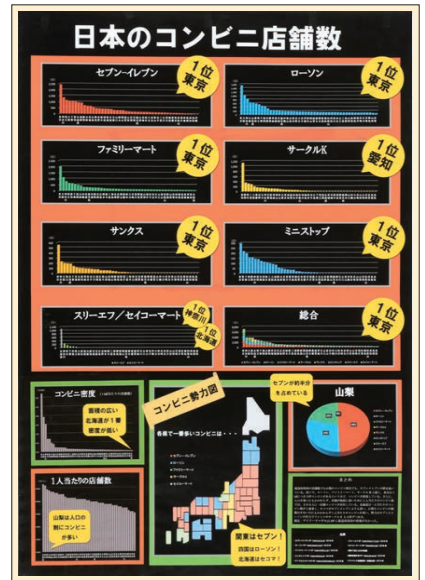
**知事賞** 山梨学院中学校3年 箕輪 岳弥さん



人口問題について、多角的に分析し様々なグラフを用い、きれいにまとめている。調べていく過程がフローでわかるようにしてあります。また、吹き出しで説明がありわかりやすいですね。

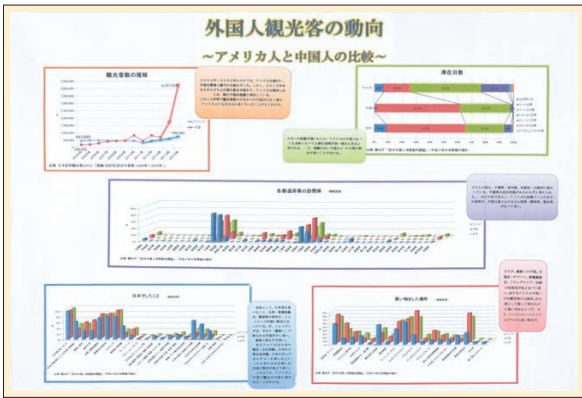
**教育長賞**

山梨学院中学校1年 岩間 悠莉さん



全国の店舗数をまとめて、一番多いところを地図におとしており、多い場所がよくわかります。視覚的にきれいなレイアウトになっていますね。

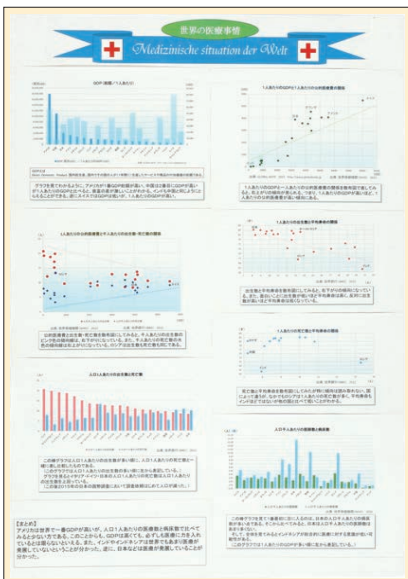
**教育長賞** 山梨学院中学校3年 内藤 英理香さん



日本と関わりが深い両国(アメリカと中国)を比べるとという発想がおもしろいです。自分の意見も添えて、3Dにして見やすくまとめているですね。

**入選**

山梨学院中学校1年 池田 杏梨さん

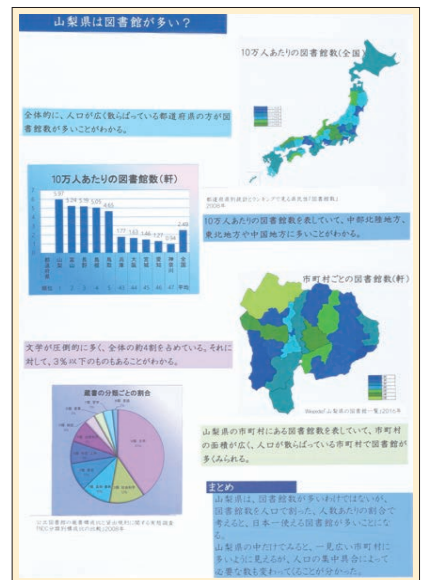


青を基調に視覚的にすっきりとした構成となっています。図書館数を棒グラフによってわかりやすく説明していますね。

GDPと医療事情の問題を結びつけるという視点が興味深いですね。様々なグラフを用いて考察している点が良いです。

**入選**

山梨大学教育学部附属中学校1年 佐藤 茜さん



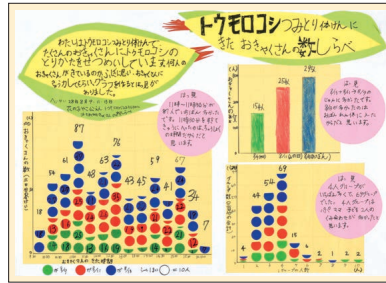


# 各部門佳作

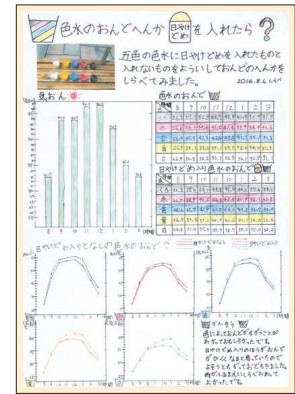
第1部 山梨学院小学校2年  
藤原 那由太さん



第1部 山梨学院小学校2年 梶山 千賀さん



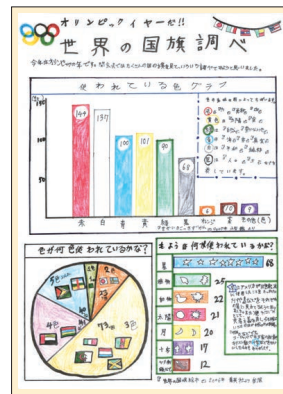
第1部 山梨学院小学校2年  
高野 純伶さん



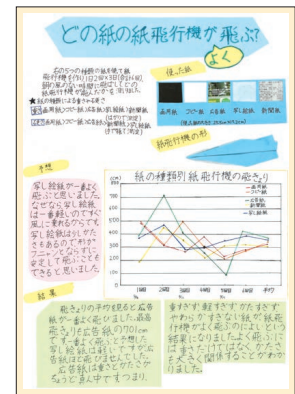
第1部 山梨学院小学校2年  
深沢 柚希さん



第2部 山梨学院小学校3年  
松本 大河さん



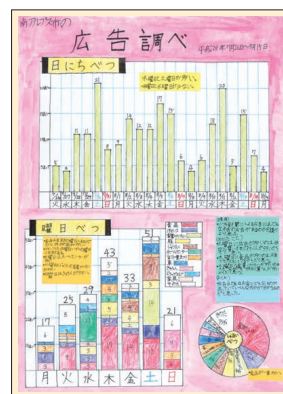
第2部 山梨学院小学校4年  
網倉 まり子さん



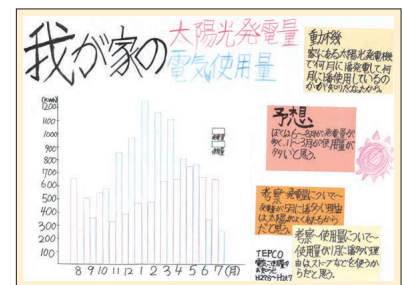
第2部 山梨学院小学校4年  
河野 珠伶さん



第2部 南アルプス市立若草小学校3年  
河西 埜乃葉さん

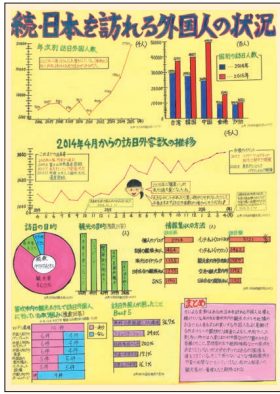


第3部 富士川町立増穂小学校6年  
名取 秀彦さん



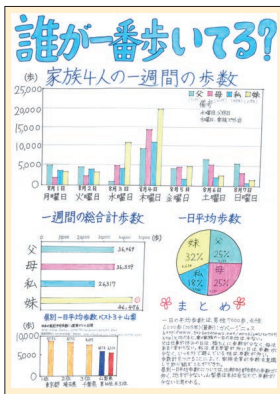
### 第4部

山梨大学教育学部附属中学校1年  
石原 永実菜さん



### 第4部

山梨市立山梨北中学校1年  
小田切 舞さん



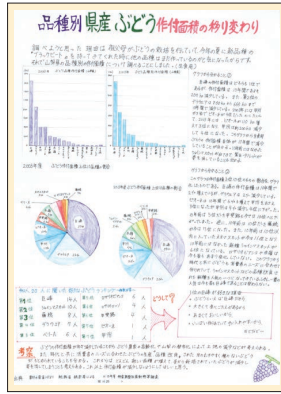
### パソコン統計グラフの部

北杜市立甲陵中学校2年  
栗原 信敬さん



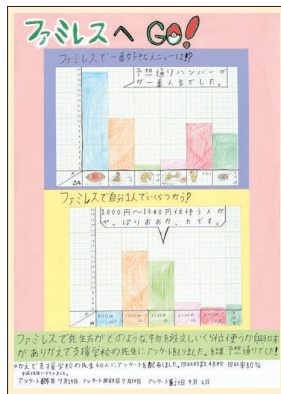
### 第4部

学校法人駿台甲府学園駿台甲府中学校1年  
樋口 雅咲さん



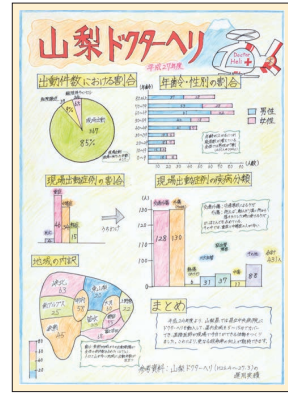
### 第5部

山梨県立かえで支援学校3年  
樋川 晃太さん



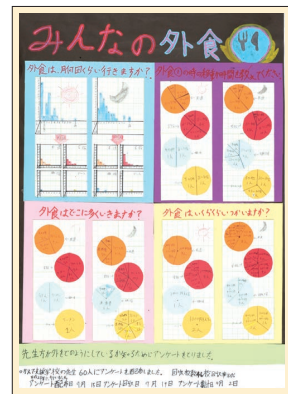
### 第4部

学校法人駿台甲府学園駿台甲府中学校1年  
平本 紗規さん



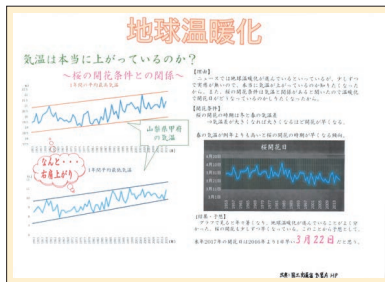
### 第5部

山梨県立かえで支援学校3年  
星野 葵さん



### パソコン統計グラフの部

北杜市立甲陵中学校2年  
半田 琉翔さん



山梨県統計グラフコンクールは、統計グラフの作成を通して、皆さんに統計を理解し、親しんでいただくことを目的として毎年開催しており、昭和28年に第1回のコンクールがスタートしてから、今年で64回目となりました。

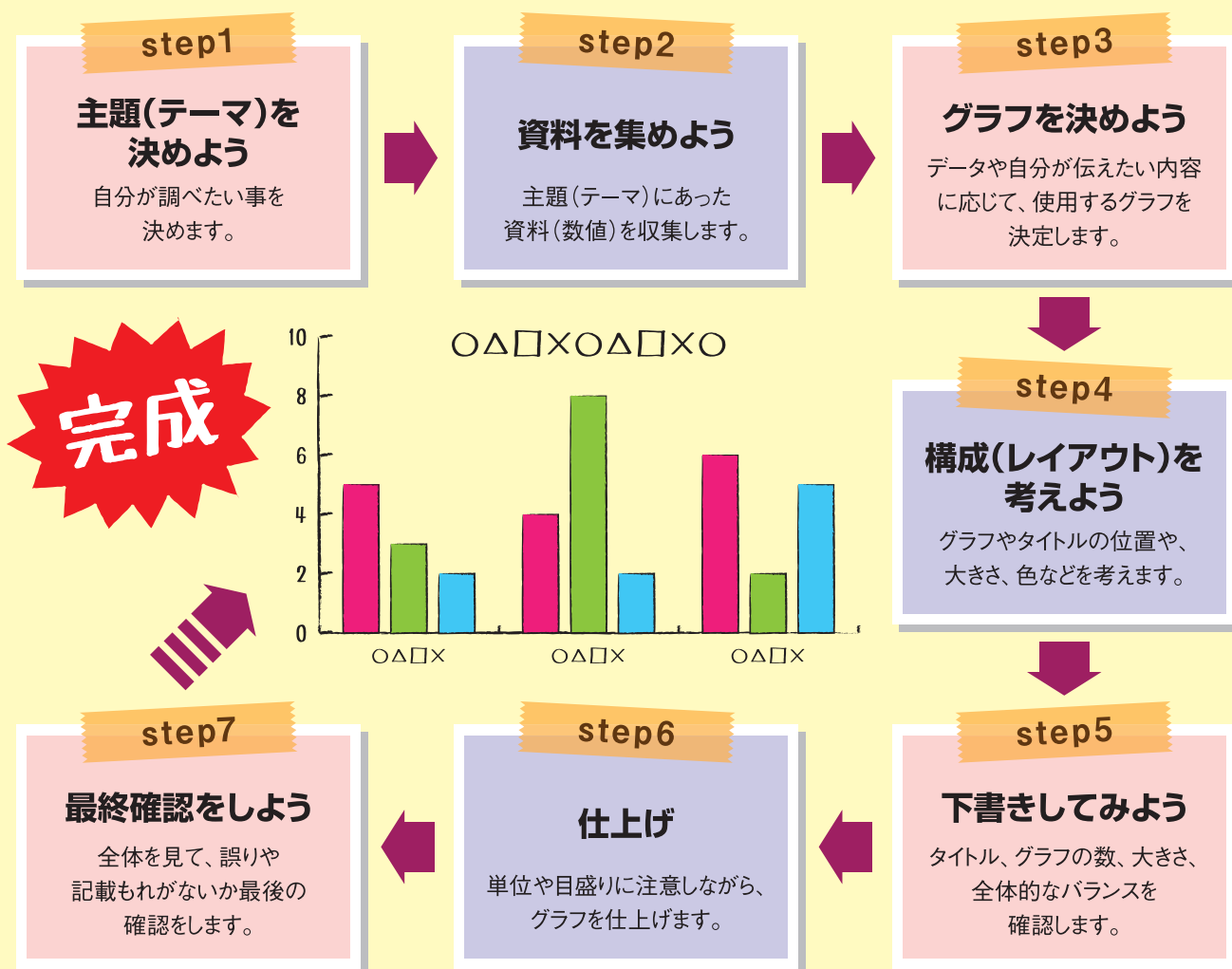
今年は839点の応募がありましたが、この作品集には、各部門の知事賞5点、教育長賞8点、入選10点、佳作17点の計40点を掲載してあります。

# 統計グラフにチャレンジしてみませんか!?

統計は、データを集めて集計しただけでは、単なる数字の集まりですが、グラフに表すことによって数字だけでは分かりにくい事が、容易に分かるようになったり、自分の考えていることを相手に的確に伝えることができます。また、意外な事実初めて気が付くこともあります。

まずは、疑問に思ったことや感じたことなど身近なことをグラフにしてみませんか??

## 統計グラフの作成手順



「山梨県統計グラフコンクール」では、統計グラフの作成を通して、統計を理解し、親しみを深めてもらうことを目的として、統計グラフの募集をしています。

県内在住、在学、在勤で、小学生以上の方ならどなたでも応募できます。テーマは自由!!

過去の入賞作品や応募方法については、県HP「やまなしの統計」をご覧ください。

自分の作品を多くの県民のみなさんに見てもらおうチャンスです。ふるってご応募ください。

「やまなしの統計」ホームページ [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/)



「統計からみたやまなし — 平成28年度 —」  
平成29年3月発行

山梨県県民生活部統計調査課

〒400-8501 甲府市丸の内一丁目6-1

☎ 055(223)1340

URL [http://www.pref.yamanashi.jp/toukei\\_2/](http://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/)